

教 育 要 覧

令 和 5 年 度



海 老 名 市 教 育 委 員 会

目 次

第1章 教育行政 1	第5章 文化財 91
1 教育委員会 2	1 文化財関係施設 92
2 教育委員会会議等 3	2 文化財の保護 96
3 教育計画 9	3 文化財の活用 98
4 組織図 24	4 指定・登録文化財一覧 . . 100
5 事務分掌 25	
6 職員数 27	<資料> 103
	1 歴代教育委員・教育長 . . 104
第2章 教育財政 29	2 附属機関名簿 106
1 教育費の推移 30	3 海老名市教育委員会のあゆみ . . 115
2 令和5年度歳出当初予算 . 31	
第3章 学校教育 33	
1 学校施設 34	
2 児童生徒数・学級数 . . . 36	
3 学校教育の方針 37	
4 学校紹介 40	
5 教職員研修 46	
6 教育支援 54	
7 教育相談 65	
8 安全対策 66	
9 学校保健 70	
10 学校給食 73	
11 就学援助 75	
12 奨学金 76	
13 保護者負担軽減 77	
第4章 社会教育・その他 . . 79	
1 社会教育の推進 80	
2 子ども・学校支援事業 . . 85	
3 青少年健全育成 86	
4 図書館 87	
5 学童保育クラブ 89	
6 ライフ・スタディサポート事業 . . 90	



第1章 教育行政

1 教育委員会

(令和5年10月1日時点)

職名	氏名	就任年月日	任期	備考
教育長	伊藤 文康	平成27年4月1日	令和3年4月1日 ～令和6年3月31日	
教育長 職務代理者	武井 哲也	令和3年10月1日	令和4年10月1日 ～令和8年9月30日	
委員	平井 照江	平成24年12月14日	令和2年12月14日 ～令和6年12月13日	
委員	濱田 望	令和2年2月1日	令和2年2月1日 ～令和6年1月31日	
委員	海野 望	令和5年4月1日	令和5年4月1日 ～令和7年12月12日	



委員
平井 照江



教育長
伊藤 文康



教育長職務代理者
武井 哲也



委員
濱田 望



委員
海野 望

2 教育委員会会議等

(1) 令和4年度活動状況

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

月	日	種別	内容
4	1 (金)	その他の活動	教職員辞令交付式
	6 (水)	その他の活動	中学校入学式
	7 (木)	その他の活動	小学校入学式
	14 (木)	その他の活動	県市町村教育委員会連合会総会
	15 (金)	その他の活動	教育課題研究会
	22 (金)	定例会	報告事項3件 ①海老名市教育委員会関係職員の人事異動について ②令和4年度海老名市教育委員会非常勤特別職の委嘱について ③海老名市立小中学校キャッシュレス化促進補助金交付要綱の一部改正について 審議事項1件 ①令和4年度(令和3年度対象)教育委員会事務の点検・評価実施方針及び評価対象について
5	17 (火)	その他の活動	教育課題研究会
	24 (火)	定例会	報告事項5件 ①令和4年度海老名市教育委員会非常勤特別職の委嘱について ②海老名市修学旅行における新型コロナウイルス感染防止対策補助金交付要綱の制定について ③海老名市修学旅行等キャンセル料補助金交付要綱の制定について ④海老名市児童健全育成対策(放課後児童クラブ)事業補助金要綱の一部改正について ⑤令和4年度海老名市一般会計補正予算(第2号)のうち教育に関する部分に係る意見の申し出について 審議事項3件 ①令和4年度海老名市一般会計補正予算(第4号)のうち教育に関する部分に係る意見の申し出について ②工事請負契約の締結に関する意見の申出について ③令和4年度海老名市奨学生選考委員会への諮問について

6	18 (土)	その他の活動	教育長・教育委員と語る会 (PTA)
	20 (月)	その他の活動	教育課題研究会
	24 (金)	定例会	報告事項 1 件 ①令和 4 年度海老名市教育委員会非常勤特別職の委嘱について 審議事項 3 件 ①海老名市電子図書館サービスの利用に関する要綱の制定について ②令和 4 年度海老名市一般会計補正予算 (第 6 号) のうち教育に関する部分に係る意見の申出について ③令和 4 年度海老名市奨学生の決定について
7	5 (火)	その他の活動	点検・評価に係る事業説明
	13 (水)	その他の活動	教育課題研究会
	16 (土)	総合教育会議	第 1 回総合教育会議 (食の創造館 会議室) 協議事項 3 件 ①教育大綱について ②感染症対策 (マスク) について ③給食について
	22 (金)	定例会	審議事項 2 件 ①海老名市文化財保護審議会への諮問について ②令和 5 年度使用教科用図書採択について
8	1 (月)	その他の活動	点検・評価に係る教育委員の評価の決定
	2 (火)	その他の活動	管理職研修会
	10 (水)	その他の活動	教育課題研究会
	19 (金)	定例会	報告事項 3 件 ①海老名市中学校体育連盟事業における新型コロナウイルス感染防止対策補助金交付要綱の制定について ②令和 4 年度海老名市奨学生選考委員会への諮問について ③令和 4 年度海老名市奨学生の決定について 審議事項 4 件 ①令和 4 年度 (令和 3 年度対象) 教育委員会事務の点検・評価について ②海老名市立小学校及び中学校の特定教室の利用に関する要綱の一部改正について ③令和 3 年度海老名市一般会計歳入歳出決算認定のうち教育に関する部分に係る意見の申出につ

			いて ④令和4年度海老名市一般会計補正予算(第7号) のうち教育に関する部分に係る意見の申出につ いて
	23(火)	その他の活動	ひびきあう教育研究大会
9	13(火)	その他の活動	教育課題研究会
	22(木)	定例会	審議事項2件 ①令和4年度全国学力・学習状況調査結果の公表 及びその方法について ②令和4年度海老名市奨学生選考委員会への諮問 について
10	3(月)	その他の活動	教育委員任命辞令交付式
	8(土)	その他の活動	小学校運動会
	13(木)	その他の活動	教育委員会行政視察(水戸市、つくば市)
	14(金)		
	15(土)	その他の活動	小学校運動会
	19(水)	その他の活動	中学校体育祭
	20(木)	その他の活動	広報えびな題字選考会
		臨時会	報告事項2件 ①海老名市教育委員会関係職員の人事異動につ いて ②令和4年度海老名市奨学生の決定について 審議事項1件 ①令和4年度末県費負担教職員人事異動方針につ いて
		その他の活動	教育課題研究会
	25(火)	その他の活動	中学校体育祭
28(金)	その他の活動	小学校連合運動会	
	定例会	審議事項1件 ①第3期海老名市外国語教育実施計画の策定につ いて	
11	16(水)	その他の活動	教育課題研究会
	18(金)	その他の活動	県市町村教育委員会連合会研修会(茅ヶ崎市)

	22 (火)	定例会	報告事項 2 件 ①工事請負契約の変更契約締結に関する意見の申出について ②令和4年度海老名市一般会計補正予算(第10号)のうち教育に関する部分に係る意見の申出について 審議事項 4 件 ①海老名市登録文化財の登録について ②令和4年度全国学力・学習状況調査の公表内容について ③令和4年度海老名市教育委員会非常勤特別職の委嘱について ④令和4年度海老名市一般会計補正予算(第11号)のうち教育に関する部分に係る意見の申出について
	26 (土)	総合教育会議	第2回総合教育会議、ユースミーティング (柏ヶ谷中学校 体育館) 協議事項 2 件 ①教育大綱について ②部活動改革について
12	17 (土)	その他の活動	えびなっ子いきいきシンポジウム
	19 (月)	その他の活動	English day 視察 (大谷小学校)
		その他の活動	教育課題研究会
	23 (金)	その他の活動	教育課題研究会
1	9 (月)	その他の活動	二十歳の祝典
	13 (金)	その他の活動	賀詞交歓会 (市長、学校長、教育委員)
	16 (月)	その他の活動	教育課題研究会
	19 (木)	定例会	報告事項 4 件 ①令和4年度海老名市教育委員会非常勤特別職の委嘱について ②令和4年度海老名市一般会計補正予算(第13号)のうち教育に関する部分に係る意見の申出について ③海老名市中学3年生応援インフルエンザ予防接種助成金交付要綱の一部改正について ④海老名市立図書館及び門沢橋コミュニティセンターの指定管理者に対する第三者評価結果について

			審議事項 2 件 ①個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴う教育委員会規程の制定及び廃止について ②海老名市学童保育事業の設備及び運営に関する基準を定める条例について
	20 (金)	その他の活動	ひびきあう教育指定校実践発表会 (柏ヶ谷中学校)
	26 (木)	その他の活動	教育課題研究会
	29 (日)	その他の活動	新春はやし叩き初め大会
	30 (月)	その他の活動	ひびきあう教育指定校実践発表会 (大谷小学校)
2	3 (金)	その他の活動	教育課題研究会
	10 (金)	定例会	審議事項 7 件 ①郷土資料館条例施行規則及び歴史資料収蔵館設置施行規則の一部改正について ②海老名市公立学校職員の勤務時間の割振りに関する規程の一部改正について ③物品の取得に関する意見の申出について ④令和4年度海老名市一般会計補正予算(第14号)のうち教育に関する部分に係る意見の申出について ⑤海老名市学童保育事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正に関する意見の申出について ⑥令和5年度海老名市一般会計予算のうち教育に係る部分に関する意見の申出について ⑦海老名市教育委員会委員の辞職について
	25 (土)	総合教育会議	第3回総合教育会議 (えびなこどもセンター 201会議室) 協議事項 3 件 ①教育大綱について ②令和5年度教育予算における重点事業等について ③学校施設再整備について
		その他の活動	令和4年度市PTA活動研究集会
	27 (月)	その他の活動	教育課題研究会

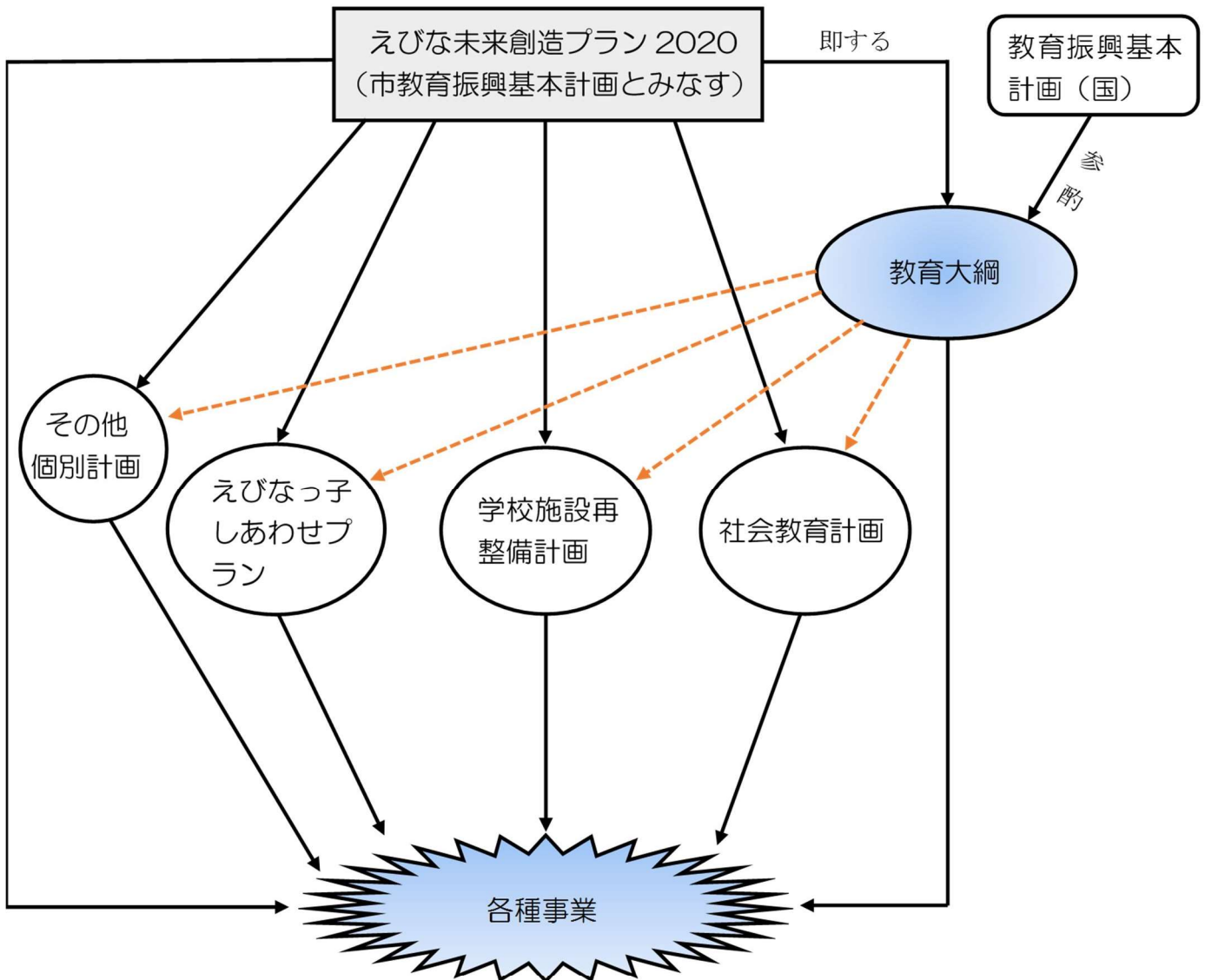
3	6 (月)	定例会	報告事項 1 件 ①海老名市学校給食費に関する条例施行規則の一部改正について 審議事項 5 件 ①海老名市部活動方針の一部改正について ②海老名市立図書館指定管理者制度の継続について ③令和 5 年度海老名市教育委員会非常勤特別職の委嘱について ④県費負担教職員の人事異動について ⑤市費負担加配教員の配置について
	8 (水)	その他の活動	中学校卒業式
		その他の活動	教育課題研究会
	10 (金)	その他の活動	教育課題研究会
	17 (金)	その他の活動	小学校卒業式
		臨時会	審議事項 2 件 ①工事請負契約の締結に関する意見の申出について ②令和 5 年度ひびきあう教育実践委託事業費について
31 (金)	その他の活動	教職員辞令交付式	
		職員退任式	

(2) 教育委員会会議の開催時期等

開催時期	会議時間	傍聴者数	開催時期	会議時間	傍聴者数
令和 4 年 4 月定例会	1 時間40分	0 名	令和 5 年 1 月定例会	2 時間28 分	0 名
5 月定例会	2 時間50分	2 名	2 月定例会	2 時間57分	1 名
6 月定例会	2 時間37分	0 名	3 月定例会	2 時間37分	1 名
7 月定例会	1 時間30分	2 名	3 月臨時会	1 時間54分	0 名
8 月定例会	2 時間48分	1 名			
9 月定例会	1 時間11分	0 名	教育委員会定例会	議案	34 件
10 月臨時会	45 分	0 名		報告	19 件
10 月定例会	1 時間15分	0 名	教育委員会臨時会	議案	3 件
11 月定例会	2 時間15分	0 名		報告	2 件

3 教育計画

(1) 海老名市の教育計画の相関図



- えびな未来創造プラン2020・・・行政を運営するための最上位計画
- 海老名市教育大綱・・・・・・・・・・地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3の規定により策定した、海老名市の教育、学術及び文化芸術に関する総合的な施策の大綱
- えびなっ子しあわせプラン・・・家庭・学校・地域・行政が力を合わせて取り組む教育計画
- 学校施設再整備計画・・・・・・・・・・公共施設再編（適正化）計画の分野別計画
- 社会教育計画・・・・・・・・・・教育大綱に掲げる「子どもと大人がともに成長する社会」の構築を基本目標とする計画

(2) えびな未来創造プラン 2020

ア 概要

10年後のめざす姿である「みんなが笑顔 住みやすいまち えびな」の実現に向けて、まちづくりの方針を定める市の羅針盤となるもので、計画的に行政を運営するための最上位計画です。

イ 計画期間

10年間（令和2年度から令和11年度まで）

なお、社会経済情勢等の変化に伴い、本計画の方向性に大きな影響を及ぼす事象が生じた場合は、見直しを図るものとします。

ウ 所管課

企画財政課

エ 内容

次ページ以降に抜粋を掲載しています。

えびな 未来創造プラン2020

みんなが笑顔
住みやすいまち



5

教育

豊かな学びを育むまち

本市の21世紀の教育理念「ひびきあう教育」のもと、子どもたちの「しあわせ」、家庭・学校・地域の「しあわせ」を目指します。

本市の学校教育の方針「えびなっ子しあわせプラン」に基づき、えびなっ子の今と将来のしあわせのために、義務教育9年間で確実に「学力」「集団力」「健康安全力」を身につけることを目指し、「授業改善」「新たな教育課程」「小中一貫教育」「コミュニティスクール」の3つを重点に学校教育に取り組みます。

子どもと大人がともに成長する社会の実現を目指し、図書館の進化、文化財の積極的な活用、生涯学習の充実などに取り組みます。

新たな学校施設への取り組みを進めるとともに、子育て環境の充実を図ります。

これらの取り組みを通じ、「しあわせをはぐくむ教育のまち」海老名を実現いたします。



5-1

ひびきあう教育の実現

5 教育

5-1

ひびきあう教育の実現

めざす姿

- ① 学校施設の再整備などを通じ、子どもたちが安全で快適な学校で学習できるような教育環境の維持向上が図られています。
- ② 児童生徒の安全安心及び学力向上に向け、市費で教職員を配置することにより、学習環境の充実が図られています。
- ③ 地産地消で安全安心かつ、栄養バランスのとれた美味しい給食が提供されています。
- ④ 学習指導要領（※62）の改訂内容を踏まえ、ICT 機器の活用による児童生徒の情報活用能力の育成が図られています。
- ⑤ 教職員の主体的な研究活動を支援するとともに、教職員に対する効果的な研修を実施することにより、教育指導・支援の充実が図られています。
- ⑥ 児童生徒の英語による自己表現力や、コミュニケーション力を伸ばし、グローバル化に対応できる人材を育成しています。
- ⑦ 「小学校・中学校のつながり」「地域・学校のつながり」が充実し、子どもの豊かな「学び」「育ち」が図られています。
- ⑧ 支援を必要とする児童生徒が、安心して、充実した学校生活を送れるよう、支援体制の整備・充実が図られています。
- ⑨ 学校は、乳幼児から高齢者まで集い、学ぶことのできる、地域コミュニティの拠点施設となっています。
- ⑩ 図書館は、子どもから大人まで、多くの市民が集う「学び」と「コミュニティ」の拠点となっています。
- ⑪ 子どもたちの社会教育活動の充実を図るため、補助支援を継続しつつ、自発的な活動を支援しています。
- ⑫ 市民の自己啓発を通して生きがいを持ち、交流の場が図られています。
- ⑬ 学童保育のニーズは、今後も増加が見込まれるため、受け入れ先の確保ができるよう支援を行っています。
- ⑭ 市民にとって開かれた教育委員会になっています。
- ⑮ 温故館や相模国分寺跡などは、海老名駅北口などからのアクセス向上や、内容の充実により、海老名の歴史・文化財の情報発信拠点となっています。
- ⑯ 誰もがいつでも必要な資料を閲覧できるように、歴史資料のデジタル化や積極的な公開を継続しています。

関連する
主な個別計画等

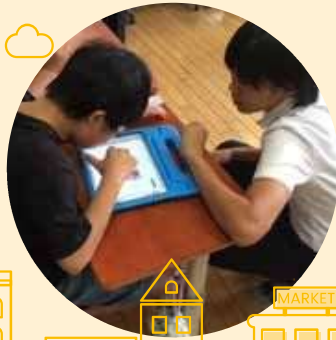
- 教育大綱
- えびなっ子しあわせプラン

- 社会教育計画
- 学校施設再整備計画

関連する SDGs



地域とのつながりのなかで教育を行い、
生涯学べる場所があるから、
みんなが笑顔になります。



今後の方針

- 学校施設の整備にあたっては、人口動向や社会情勢等を的確に見極め、統廃合、複合化、多機能化等に取り組みます。また、学校施設再整備計画については、一定の周期で見直しを図ります。(① ⑨)
- 弁護士による法律相談や、効果的な非常勤講師の配置により、いじめ等に対する適切な体制を確保します。(②)
- 効果的な非常勤講師の配置により、指導体制の充実や、教育的な課題解決を図ります。(②)
- 学校給食のあり方について、検討委員会を立ち上げ、今後の方向性を定めます。(③)
- 教員の専門性や指導力を高めるとともに、多様化する教育課題などに対応するため、効果的な研修体制や支援体制を整えます。(④ ⑤)
- 教職員の自主性と質の向上及び各校の特色ある学校運営等を実践するための補助を行います。(⑤)
- ネイティブ(※63)な英語に慣れ親しむとともに、コミュニケーション能力の向上に向けて、外国人英語指導講師による教育支援を充実し、英語教育を推進します。(⑥)
- 各学校・地域の特色を活かして、小中一貫教育や海老名型コミュニティ・スクール(※64)を推進します。(⑦)
- 補助指導員(※65)等、専門性の高い職員を派遣し、一人ひとりのニーズに応じた支援を行います。(⑧ ⑩)
- 学校に心理の専門家等を派遣し、教育相談体制の充実を図ります。(⑧)
- 指定管理者と協力し、市立図書館の管理運営を進化させます。(⑩)
- 多くの市民の意見を聞いて、「まな BINA」(※66)の講座の充実・向上を図ります。(⑫)
- ニーズに応じた学童保育の確保や安定的な運営のための支援を図ります。(⑬)
- 教育委員会会議や総合教育会議などの資料・議事録等をホームページに適宜公開し、市民に開かれた教育委員会にします。さらに、首長との連携強化による円滑かつ柔軟な教育行政を推進します。(⑭)
- 相模国分寺跡を中心に整備・活用を進めます。(⑮)
- 温故館の展示や情報発信の取り組みを継続するとともに、電子化による歴史資料や文化財の公開を進めます。(⑯)

市民の声



- 小中一貫、小中統廃合、英語教育など推進してほしい。
- 高齢者と小学生などの交流、世代間のコミュニケーションの場づくりを進めてほしい。
- 理想の教育の実践に向け、考え方を教えた方が良い。
- 学童保育の充実を図ってほしい。
- 公立中学校給食の充実を図ってほしい。
- 生涯学習の講習会や教室など考え増やしてほしい。
- 文化財の公開を継続してほしい。

※ 62 どの学校でも一定の教育水準が保てるよう、文部科学省が定めている教育課程の基準
 ※ 63 ネイティブ・スピーカー(母語話者)のこと。土地の人及びある言語を母語とする人のこと。
 ※ 64 地域住民が参画する学校運営協議会制度
 ※ 65 小中学校で通常学級に在籍する児童生徒への個別指導等を行う海老名市の非常勤職員
 ※ 66 海老名市教育委員会において、社会教育の視点から市民の交流の場、学びの場として行っている講座

1 市民生活

2 健康・福祉

3 経済・環境

4 まちづくり

5 教育

6 消防・防災

7 行財政運営

8 モーショントラック



(3) 海老名市教育大綱

ア 概要

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3の規定により策定した、海老名市の教育、学術及び文化芸術に関する総合的な施策の大綱です。

イ 計画期間

4年間（第3期 令和5年度から令和8年度まで）

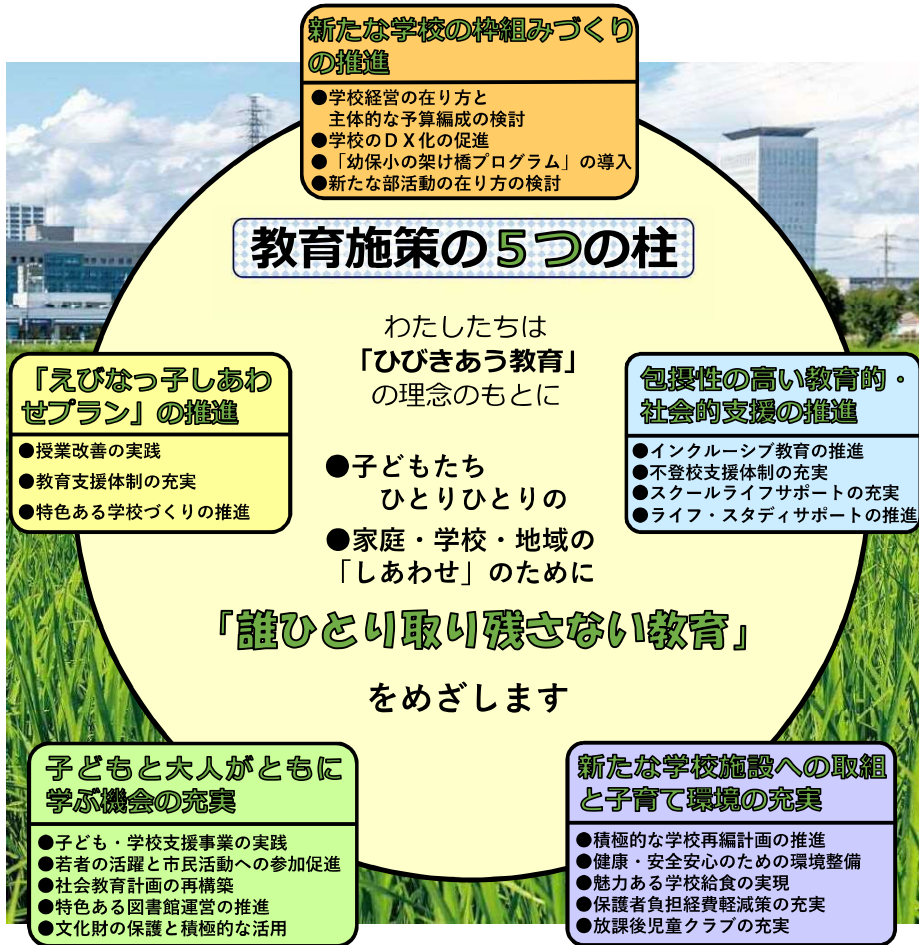
ウ 所管課

教育総務課

エ 内容

次ページ以降に掲載しています。

「しあわせをはぐくむ教育」のまち海老名



家庭・学校・地域・行政の力を結集

海老名市教育大綱

目標

「しあわせをはぐくむ教育」のまち海老名

基本的な考え方

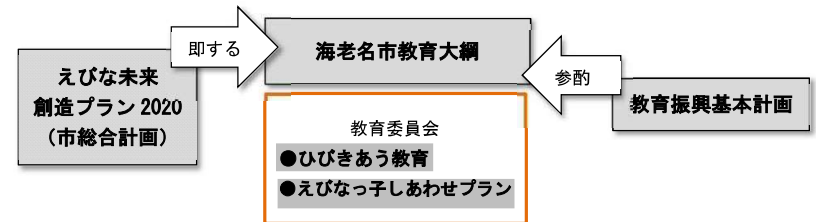
わたしたちは「ひびきあう教育」の理念のもとに

- 子どもたちひとりひとりの
 - 家庭・学校・地域の
- しあわせをめざします

計画期間

4年間（令和5年4月から令和9年3月まで）

計画の位置づけ



教育施策の5つの柱

- 1 新たな学校の枠組みづくりの推進
- 2 包摂性の高い教育的・社会的支援の推進
- 3 「えびなっ子しあわせプラン」の推進
- 4 子どもと大人がともに学ぶ機会の充実
- 5 新たな学校施設への取組と子育て環境の充実

家庭・学校・地域・行政の力を結集



事業概要

1 新たな学校の枠組みづくりの推進

① 学校経営の在り方と主体的な予算編成の検討 …【教育支援課】

学校教育目標を軸に、地域に根差した特色ある学校づくりを目指し、海老名の子どもの豊かな「学び」と「育ち」を保障するために、各校の校長の裁量権を拡大し、効果的な学校予算編成を行うとともに、持続可能な枠組みの在り方を研究します。

② 学校のDX化の促進 …【就学支援課・教育支援課】

校務のIT化をさらに進めるとともに、子どもひとりひとりに合った教育や指導を行うために、学校教育活動のあらゆる場面で1人1台端末の活用を進めます。授業ではデジタル教材やMEXCBTを使い、個人に合わせた学習や協働的な学びに活用します。また、保護者へのメールサービス「SumaMachi」を活用し、学校の様々な連絡事項や不審者情報などを即時提供します。

③ 「幼保小の架け橋プログラム」の導入 …【教育支援課】

小学校、幼稚園、保育園等が連携し、架け橋期（5歳児から小学校1年生の2年間）のひとりひとりの多様性に配慮した上で全ての子どもに学びや生活の基盤を育むことを目指し、スタートカリキュラムを全小学校で研究・推進していきます。

④ 新たな部活動の在り方の検討 …【教育支援課】

持続可能な部活動のあり方と生徒の部活動の充実の観点から、学校や地域の実態に応じて、各団体・保護者・民間事業者等の協力のもと、学校と地域が協働・融合した形で地域における部活動環境整備を進めます。

2 包摂性の高い教育的・社会的支援の推進

① インクルーシブ教育の推進 …【教育支援課】

個別的教育支援計画の作成等を通じた教育的ニーズの適切な把握をもとに、すべての子どもたちひとりひとりの多様性に対応した、学びやすい環境、わかりやすい授業、安全で安心できる居場所を目指します。

② 不登校支援体制の充実 …【教育支援課】

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用推進や、校内別室支援体制の充実等による不登校の未然防止を図ります。また、不登校の子どもたちが安心して過ごすことができる多様な学びの場の拡充を官民協働で進めています。

③ スクールライフサポートの充実 …【就学支援課】

経済的な理由で就学困難な家庭に対し、学用品費や給食費、校外活動費、修学旅行費など、学校生活に必要な費用の一部を援助し、保護者の経済的負担の軽減を図ります。

④ ライフ・スタディサポートの推進 …【学び支援課】

生活困窮世帯に属する中学生に対し、学習支援や生活支援、進学に関する支援を実施することで、子どもの高等学校等への進学や社会的自立を促し、貧困の連鎖を防止します。

※包摂性の高い教育とは…子どもたちひとりひとりが、その個性や能力に応じた教育を受ける機会を与えられていること。

3 『えびなっ子あわせプラン』の推進

① 授業改善の実践 …【教育支援課】

「主体的・対話的で深い学び」を追求するために、市内教員がその視点からの学習過程を見直し、小中接続の観点からも、ともに授業を工夫・改善していく取組を推進します。また、個別最適な学びと協働的な学びを実現するために、1人1台端末の各教科等の指導における効果的な活用方法等について研究します。

② 教育支援体制の充実 …【教育支援課】

すべての子どもを対象とした教育支援体制の構築についての研究・協議を進めてまいります。また、個別的教育支援計画シートの有効活用、不登校の子どもたちへの多様な学習支援、いじめ問題への具体的な対応策の拡充等について研究してまいります。



③ 特色ある学校づくりの推進 …【教育支援課】

「特色ある教育活動」実践に向けたカリキュラムマネジメントを展開できるようにするため、「教育課程編成」「地域との連携協働」等について研究し、具体的な取組につなげてまいります。

4 子どもと大人がともに学ぶ機会の実現

① 子ども・学校支援事業の実践 …【学び支援課】

えびなっ子スクールやあそびっ子クラブ等の実施を通して、学校と地域の連携を図り、地域ぐるみで子どもたちのしあわせを育みます。また、学校応援団が地域の力を引き出すことで、子どもたちと地域が共に成長できる社会を目指します。

② 若者の活躍と市民活動への参加促進 …【学び支援課】

次世代の担い手である中・高校生や大学生を中心に自分たちがやりたいこと、住みたいまちの実現に向けた探究活動の場の提供や、地域及び学校の事業に次世代のメンターとして関わりを持つことで、若者の活躍と市民活動への参加促進を目指します。

③ 社会教育計画の再構築 …【学び支援課】

社会教育関係団体の連携や地域での社会教育活動の充実、学習機会の充実を図ることにより、地域の大人が子どもたちへの関わりを通してより強いつながりを持ち、子どもと大人がともに育つ社会の構築を目指します。

④ 特色ある図書館運営の推進 …【学び支援課】

中央図書館は「新しい学びが見つかる空間」として、有馬図書館及び門沢橋コミュニティセンターは「学びとコミュニティの空間」として、それぞれの立地条件や地域の特性を生かした運営を行うことで、様々な人々が集う知の拠点を目指します。

⑤ 文化財の保護と積極的な活用 …【教育総務課】

市内に存する文化財のうち重要なものについて、市指定重要文化財や市登録文化財として保存を進め、次世代に引き継ぎます。また、国史跡相模国分寺跡・尼寺跡の公有地化を行い、保存活用を進めます。歴史資料等のデジタル化や「相模国分寺跡あそびのひろば」の開催など、積極的に文化財を活用し、市内外に海老名の歴史文化財を伝えます。

5 新たな学校施設への取組と子育て環境の実現

① 積極的な学校再編計画の推進 …【教育総務課】

「持続可能」で子どもたちにとって「夢」のある学校の実現に向けた施設整備を進めるため、児童生徒の人口推計を的確にとらえながら、新築、統合及び一貫校化を含めた積極的な学校再編の方向性を、海老名市学校施設再整備計画の見直しにあわせて、再整備計画に反映します。

② 健康・安全安心のための環境整備 …【教育総務課・就学支援課】

老朽化した樹木の伐採及び剪定、校舎及び屋内運動場のLED化、庁内他課との連携による健康管理データの活用、青色パトロール車による巡回パトロール等を通して、子どもがいいきいと学べる学習環境・のびのびと生活できる生活環境を整備します。

③ 魅力ある学校給食の実現 …【就学支援課】

学校給食献立コンテストの優秀作品の献立化等、子どもたちが食べたいと思う、魅力的かつ安全安心な給食の提供に努め、海老名の子どもたちひとりひとりの「おいしい笑顔」の実現を目指します。

④ 保護者負担経費軽減策の充実 …【就学支援課、教育支援課】

使用頻度の低い彫刻刀や柔道着の購入費や小学校1年生及び中学校1年生の教材費の公費負担、中学校ジャージのコンペティション等を行うなど、「海老名市保護者負担経費の在り方についての方針」に基づく、保護者負担経費の更なる適正化を図ります。

⑤ 放課後児童クラブの充実 …【学び支援課】

学童保育クラブの「質」及び「定員」の充実を図ることで、子どもたちに安全に放課後を過ごすことができる場を提供し、保護者が安心して子どもをあずけることができる環境を整備します。





(4) 第3期えびなっ子しあわせプラン

ア 概要

海老名の子どもたちが、今、学校で生き生きと学習・生活するために、将来、自己実現を果たし、社会の一員として「しあわせ」に生きることをめざして、家庭・学校・地域・行政が力を合わせて取り組む教育計画です。

なお、第3期では、第1期及び第2期で取り組んだ「授業・教育課程・学校体制のあり方の研究・実践」を継続するとともに、海老名市の子どもたちひとりひとりの学びを保障するべく、「多様性」をキーワードに、3つの重点に取り組み、「多様な学びの場と指導・支援方法の実践」、そのための「多様な支援体制と学校体制のあり方の研究」を行っていきます。

イ 計画期間

3年間（令和3年度から令和5年度まで）

ウ 所管課

教育支援課

エ 内容

次ページ以降に掲載しています。

この「第3期えびなっ子しあわせプラン」全体を進めるために…

「えびなっ子しあわせプラン推進委員会」

にて、検討・協議を行います。

《 構成メンバー 》

校長代表3名、保護者代表1名、市教育委員会

《 スーパーバイザー 》

早稲田大学 教育・総合科学学術院

小林 宏己 教授

その他、今日的な課題に対応すべく…

「部活動推進協議会」

を設けます。
海老名市の「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革」について、検討・協議します。



第3期

『えびなっ子しあわせプラン』

海老名市教育委員会 教育ビジョン

「えびなっ子しあわせプラン」の歩み

第1期

(H26～29年度)

次の6点に取り組みました。

《身につける3つの力》

- ①学力の向上
- ②集団力の育成
- ③健康安全力の育成

《これからの学校の姿》

- ④教育課程の検討
- ⑤小中一貫教育の推進
- ⑥コミュニティ・スクールの導入

第2期

(H30～R2年度)

第1期の取組を継続しつつ、第2期では次の3つを重点に取り組みました。

①授業改善

・「授業改善実践推進委員会」での研究
・「よりよい授業づくり学校訪問【特別版】の実施

②新たな教育課程の編成

・「教育課程編成研究会」での研究

③小中一貫教育、コミュニティ・スクールの推進

・「新たな学校体制づくり推進委員会」での研究

第3期

(R3～5年度)

キーワードは『多様性』。
これまでの取組を継続しつつ、

①授業改善の実践

②教育支援体制の充実

③特色ある学校づくりの推進

を重点に取り組みます。

えびなっ子の今と将来のしあわせのために、継続してまいります。

多様性を受け止め、多様性を生かし、

えびなっ子ひとりひとりの学びを保障する教育をめざします

「えびなっ子しあわせプラン」は、海老名の子どもたちが、今、学校で生き生きと学習・生活するために、将来、自己実現を果たし、社会の一員として「しあわせ」に生きることをめざして、家庭・地域・学校・行政が力を合わせて取り組む教育計画です。

そのための「授業・教育課程・学校体制のあり方の研究・実践」を第1期、第2期において取り組んできました。

第3期では、それを継続するとともに、海老名市の子どもたちひとりひとりの学びを保障すべく、「多様性」をキーワードに、3つの重点に取り組み、「多様な学びの場と指導・支援方法の実践」、そのための「多様な支援体制と学校体制のあり方の研究」を行っていきます。

第3期えびなっ子しあわせプランの3つの重点



「授業改善実践推進委員会」

授業改善の実践

- 「主体的・対話的で深い学び」を追求し、授業改善を継続します
★「よりよい授業づくりのための学校訪問【特別版】」の実施
- 今日的な教育課題である、プログラミング教育、外国語教育、キャリア教育などを実践します
- 学校ICTを有効に活用します
★「学校ICT活用推進委員会」による研究
- 市教育委員会として、実践のために必要な学校へのサポートを行います（予算確保や環境整備、教職員向けの研修など）



「よりよい授業づくりのための学校訪問【特別版】」
國學院大學 田村 学 教授による講義



タブレットを活用した学習

教育支援体制の充実

- 不登校、いじめ問題への具体的な対応策を拡充します
- 支援計画の作成や環境整備により、すべての子どもを対象とした支援教育を実践します
- 人材の活用を広げつつ、教育支援のためのチーム体制を整えます
★「不登校支援団体連絡会」の設置

「教育支援体制づくり検討委員会」

特色ある学校づくりの推進

- 各学校が特色ある教育活動を実践し、改善のための研究を行います
- 家庭・地域と連携・協働した学校運営を進めます
- 中学校区ごとのコミュニティ・スクールへ移行するための研究を行います
- 地域から支援され応援される学校づくりをめざします

「特色ある学校づくり推進委員会」



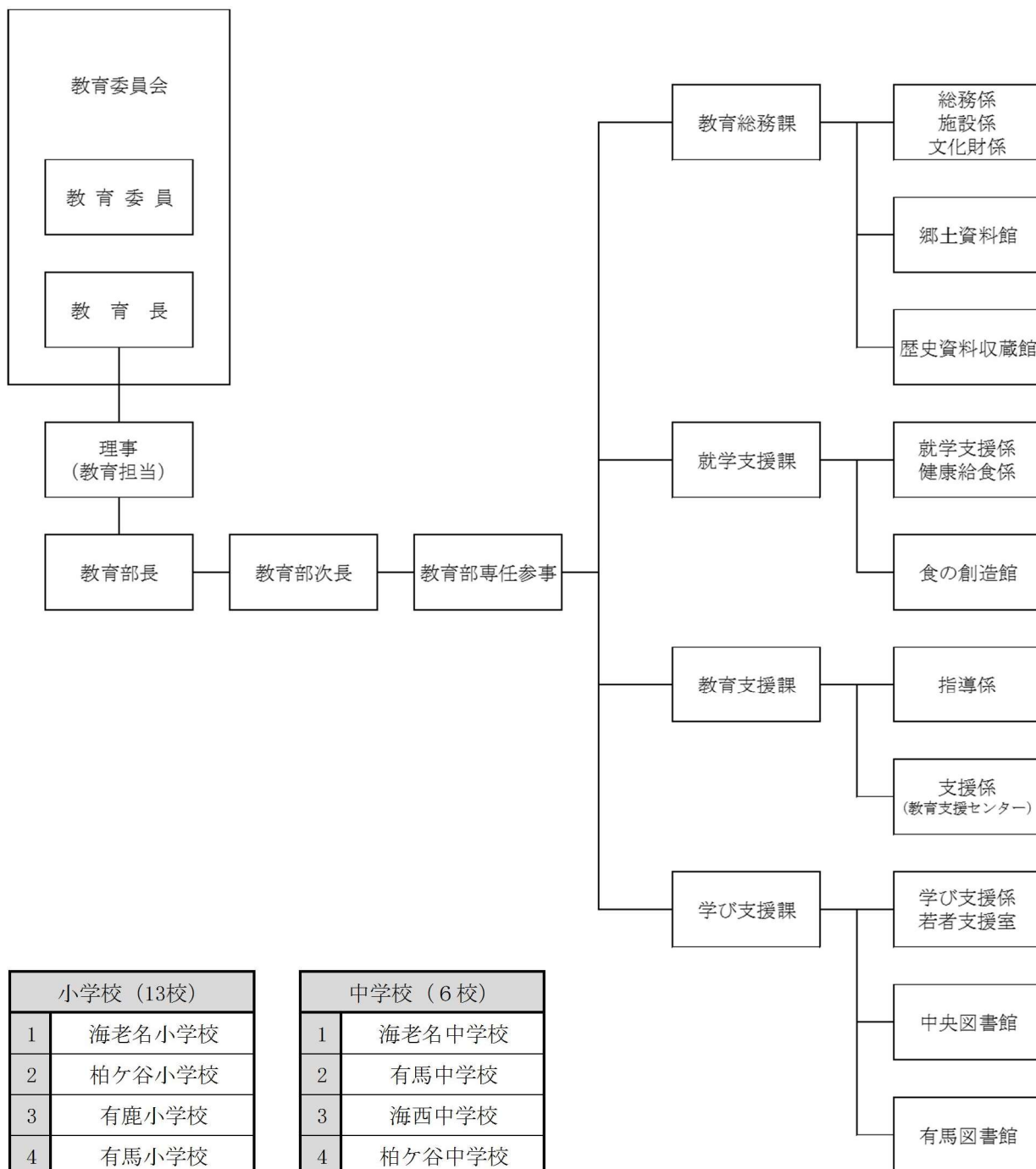
教育支援教室「びなるーむ」



学校運営協議会で地域住民と学校職員がともに話し合っている様子

4 組織図

(令和5年3月31日時点)



小学校 (13校)	
1	海老名小学校
2	柏ヶ谷小学校
3	有鹿小学校
4	有馬小学校
5	大谷小学校
6	上星小学校
7	中新田小学校
8	門沢橋小学校
9	東柏ヶ谷小学校
10	社家小学校
11	杉久保小学校
12	今泉小学校
13	杉本小学校

中学校 (6校)	
1	海老名中学校
2	有馬中学校
3	海西中学校
4	柏ヶ谷中学校
5	大谷中学校
6	今泉中学校

5 事務分掌

教育総務課	総務係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 教育委員会の会議に関する事。 (2) 儀式、表彰及び渉外に関する事。 (3) 教育行政の企画調整及び相談に関する事。 (4) 規則等の公布に関する事。 (5) 事務局、学校その他の教育機関の職員(教職員を除く。)の人事に関する事。 (6) 公印の管理に関する事。 (7) 部の庶務及び調整に関する事。 (8) 部内の事務分掌の調整に関する事。 (9) 総合教育会議に関する事。
	施設係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 教育施設の設置に関する事。 (2) 教育財産の管理に関する事。 (3) 学校施設の開放事業に関する事。
	文化財係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 文化財の保存及び活用に関する事。 (2) 史跡地の整備及び管理に関する事。 (3) 郷土資料館に関する事。 (4) 郷土芸能及び郷土資料に関する事。 (5) 市史編さんに関する事。 (6) 市史資料の調査及び収集に関する事。 (7) 歴史資料収蔵館に関する事。
就学支援課	就学支援係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 教職員の任免その他人事に関する事。 (2) 教職員の栄典に関する事。 (3) 児童生徒の就学、入学、転学及び退学に関する事。 (4) 学校の組織編成に関する事。 (5) 児童生徒及び教職員の安全管理に関する事。 (6) 就学援助に関する事。 (7) 教職員の健康管理及び福利厚生に関する事。 (8) 小中学校との連絡に関する事。 (9) 奨学金に関する事。
	健康給食係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 児童生徒の健康管理に関する事。 (2) 学校給食の運営、管理に関する事。 (3) 食の創造館に関する事。 (4) 学校給食費の賦課及び徴収、収納管理、督促等に関する事。 (5) 保健・安全・食育の指導に関する事。

教育支援課	指導係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 教科、道徳、特別活動及び総合的な学習の時間等の指導助言に関する事。 (2) 教科用図書その他教材及び教具の指導に関する事。 (3) 教育資料の整備及び活用に関する事。 (4) 教職員の研修に関する事。 (5) 人権教育に関する事。 (6) 学校 ICT の指導に関する事。 (7) 教育の調査、研究に関する事。 (8) 学校運営協議会に関する事。 (9) その他の学校教育に関する専門的事項の指導に関する事。
	支援係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 児童生徒指導に関する事。 (2) 特別支援教育に関する事。 (3) 教育支援センターに関する事。
学び支援課	学び支援係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 社会教育委員の会議に関する事。 (2) 社会教育に関する事。 (3) 社会教育関係団体(体育関係を除く。)の指導助言に関する事。 (4) 放課後児童健全育成に関する事。 (5) 図書館に関する事。 (6) 生活困窮者世帯の子どもに対する学習支援に関する事。
	若者指導室	<ul style="list-style-type: none"> (1) 若者相談に関する事。 (2) 社会教育講座に関する事。 (3) 成人式に関する事。

6 職員数

(令和5年3月31日現在)

課等名 職名		教育 総務課	就学 支援課	教育 支援課	学び 支援課
教 育 長	1	—	—	—	—
理事 (教育担当)	1				
部 長	1				
次 長	1				
専任参事	1				
参 事	4				
課 長		(1)	(1)	(1)	(1)
担当課長 所 長		1	1	1	
主 幹			2	2	1
副 主 幹			1	6	2
係 長 室 長		2(1)	1(1)	1(1)	1(1)
主 査		3	1	1	
主任主事			1	1	
主 事		4<1>	3	2<1>	2
主 事 補		3			1
指 導 主 事			(2)	(7)	(1)
社会教育主事					(1)
用 務 員 (正職・再任用)		3<3>			
管 理 栄 養 士			1		
会計年度任用職員		35	88	156	12

※()内は兼務者、< >内は再任用職員で、いずれも内数

※会計年度任用職員の区分は以下のとおり (学校配置含)

一般事務員、事務専門員 (一)、事務専門員 (三)、用務員、社会教育指導員、栄養士、業務員 (通学路巡回パトロール員、学校安全監視員、通学路立哨員)、非常勤講師、教育専門指導員、教育支援センター指導員、教育支援センター主任指導員、教育支援センター専門補導員、教育支援センター主任相談員、教育支援センター相談員、言語聴覚士、補助指導員、介助員、看護介助員、日本語指導学級講師、社会教育支援指導員



第2章 教育財政

1 教育費の推移

(1) 一般会計と教育費の推移

年度	当初予算額			決算額			
	一般会計 (千円)	教育費 (千円)	割合 (%)	一般会計 (千円)	教育費 (千円)	割合 (%)	増減率 (%)
R1	43,829,000	4,455,678	10.17	45,486,864	4,493,863	9.88	5.95
R2	45,894,000	5,191,909	11.31	64,070,277	5,722,898	8.93	27.34
R3	45,225,000	5,306,771	11.73	54,819,501	5,460,685	9.96	△ 4.58
R4	46,180,000	4,607,007	9.98	52,341,647	5,316,182	10.16	△ 2.65
R5	48,567,000	6,208,649	12.78	—	—	—	—

※決算額は支出済額を抽出

単位未満は四捨五入

増減率は前年度教育費との比較

(2) 項別歳出決算額の推移

項	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	決算額 (千円)	構成比 (%)	決算額 (千円)	構成比 (%)	決算額 (千円)	構成比 (%)	決算額 (千円)	構成比 (%)
教育総務費	1,670,631	37.17	2,074,507	36.25	2,150,099	39.38	2,490,838	46.85
小学校費	607,823	13.53	1,024,136	17.90	1,266,419	23.19	652,045	12.27
中学校費	330,648	7.36	467,713	8.17	411,930	7.54	341,794	6.43
社会教育費	1,121,647	24.96	1,677,073	29.30	1,140,358	20.88	1,139,836	21.44
保健体育費	763,114	16.98	479,469	8.38	491,879	9.01	691,669	13.01
合計	4,493,863	100.00	5,722,898	100.00	5,460,685	100.00	5,316,182	100.00

2 令和5年度歳出当初予算（項目別）

項 目	令和5年度		令和4年度		増減額 (千円)	増減率 (%)
	予算額	構成比	予算額	構成比		
	(千円)	(%)	(千円)	(%)		
1 教育総務費	3,455,504	55.66	1,983,957	43.06	1,471,547	74.17
1 教育委員会費	6,108	0.10	6,024	0.13	84	1.39
2 事務局費	1,179,753	19.00	1,049,087	22.77	130,666	12.46
3 学校給食費	2,200,257	35.44	871,130	18.91	1,329,127	152.58
4 教育支援センター費	69,386	1.12	57,716	1.25	11,670	20.22
2 小学校費	471,081	7.59	458,427	9.95	12,654	2.76
1 学校管理費	379,150	6.11	370,822	8.05	8,328	2.25
2 教育振興費	91,931	1.48	87,605	1.90	4,326	4.94
3 中学校費	286,075	4.61	295,791	6.42	△ 9,716	△ 3.28
1 学校管理費	227,520	3.66	243,932	5.29	△ 16,412	△ 6.73
2 教育振興費	58,555	0.94	51,859	1.13	6,696	12.91
4 社会教育費	1,468,217	23.65	1,169,670	25.39	298,547	25.52
1 社会教育総務費	774,962	12.48	729,323	15.83	45,639	6.26
2 文化財保護費	283,898	4.57	37,498	0.81	246,400	657.10
3 図書館費	409,357	6.59	402,849	8.74	6,508	1.62
5 保健体育費	527,772	8.50	699,162	15.18	△ 171,390	△ 24.51
1 保健体育総務費	103,843	1.67	114,443	2.48	△ 10,600	△ 9.26
2 体育施設費	423,929	6.83	584,719	12.69	△ 160,790	△ 27.50
合 計	6,208,649	100.00	4,607,007	100.00	1,601,642	34.77



第3章 学校教育

1 学校施設

(1) 学校施設一覧

ア 小学校13校

学校名	住所	電話 F A X (046)	校地 面積 (㎡)	建 物 (㎡)					
				校 舎			屋内運動場		
				構造		計	構造		計
				鉄筋	鉄骨		鉄筋	鉄骨	
えびな 海老名	〒243-0405 国分南 3-12-3	231-2019 231-3564	17,484	6,371	127	6,498	710		710
かしわがや 柏ヶ谷	〒243-0402 柏ヶ谷 1090	231-1630 231-1715	14,360	4,764	186	4,950		803	803
あるか 有 鹿	〒243-0433 河原口 3-13-1	231-2159 231-2147	13,121	3,305	1,419	4,724		716	716
ありま 有 馬	〒243-0416 中河内 1784	238-2010 238-1733	15,016	4,220	182	4,402	944		944
おおや 大 谷	〒243-0413 国分寺台 2-13-1	231-7370 231-2130	16,436	5,296	166	5,462		720	720
じょうせい 上 星	〒243-0431 上今泉 1-23-1	232-3755 232-3277	23,279	5,250	510	5,760		739	739
なかしんでん 中新田	〒243-0422 中新田 1-15-1	231-1452 231-3008	22,377	4,425	197	4,622		739	739
かどきわぼし 門沢橋	〒243-0426 門沢橋 1-19-1	238-0810 238-0335	15,738	3,799	192	3,991		739	739
ひがしかしわがや 東柏ヶ谷	〒243-0401 東柏ヶ谷 6-9-7	232-3716 232-3706	10,136	5,684	35	5,719	636		636
しゃけ 社 家	〒243-0424 社家 5-10-1	238-1453 238-5247	16,839	3,637	233	3,870		700	700
すぎくぼ 杉久保	〒243-0410 杉久保北 4-4-1	238-4508 238-4512	26,931	5,370	125	5,495		733	733
いまいづみ 今 泉	〒243-0431 上今泉 2028	232-2295 232-2256	21,820	6,210	2,925	9,135		739	739
すぎもと 杉 本	〒243-0406 国分北 4-10-1	233-6451 233-6452	14,847	4,543	95	4,638		738	738

※学校プールは平成23年度に廃止しました。

※鉄筋…RC造。主に校舎本体 鉄骨…S造。主に渡り廊下や倉庫等

イ 中学校6校

学校名	住所	電話 F A X (046)	校地 面積 (㎡)	建 物 (㎡)					
				校 舎			屋内運動場		
				構造		計	構造		計
				鉄筋	鉄骨		鉄筋	鉄骨	
えびな 海老名	〒243-0405 国分南 3-11-1	231-3410 231-7989	20,608	6,871	124	6,995		1,137	1,137
ありま 有馬	〒243-0417 本郷 4601	238-3365 238-3469	19,381	6,132	195	6,327	943	15	958
かいせい 海西	〒243-0421 さつき町 58	232-8103 232-2293	21,735	5,218	542	5,760		823	823
かしわがや 柏ヶ谷	〒243-0402 柏ヶ谷 884	233-0917 233-0947	20,240	6,454	50	6,504		826	826
おおや 大谷	〒243-0418 大谷南 2-10-1	233-3233 233-3583	21,575	5,691	119	5,810		818	818
いまいづみ 今泉	〒243-0431 上今泉 1840	233-6341 233-6142	25,366	5,390	163	5,553		1,101	1,101

※学校プールは平成 23 年度に廃止しました。

※鉄筋…R C造。主に校舎本体 鉄骨…S造。主に渡り廊下や倉庫等

(2) 令和4年度に実施した主な学校施設工事

児童生徒が安全安心な学校生活を送ることができるよう、学校施設の整備や改修工事を実施しています。令和4年度に実施した主な工事は次のとおりです。

ア 校舎等LED化改修工事

小学校2校（門沢橋小学校、社家小学校）の校舎及び屋内運動場と、3校（大谷小学校、上星小学校、中新田小学校）の校舎の照明を環境負荷が少ないLED照明に改修し、学習環境の向上と維持管理経費の削減を図りました。

イ 窓ガラス飛散防止フィルム設置工事

災害発生時の避難を安全にできるように、今泉小学校及び今泉中学校の校舎内の窓ガラスに飛散防止フィルムを設置しました。これにより、全ての小中学校の窓ガラスの飛散防止対策が完了しました。

ウ 空調設備の改修・予防保全工事

海西中学校の職員室や音楽室など特別教室系統の空調設備を改修しました。また、海老名小学校及び大谷中学校の空調室外機の部品を交換することで設備の予防保全を図りました。

エ 中学校配膳室整備工事等

中学校給食の実施に向けて、有馬中学校配膳室増築、海老名中学校ほか2校の給食用ダムウェーターの改修及び海老名中学校ほか3校の牛乳保冷庫の購入などを実施し、中学校の配膳室を整備しました。

2 児童生徒数・学級数

令和5年5月1日現在

学校名	学級数	児童数・生徒数（人）		
		総 数	男	女
海老名 小学校	33	856	452	404
柏ヶ谷 小学校	15	398	194	204
有 鹿 小学校	22	491	257	234
有 馬 小学校	13	276	148	128
大 谷 小学校	20	557	307	250
上 星 小学校	25	723	375	348
中新田 小学校	18	448	224	224
門沢橋 小学校	20	476	239	237
東柏ヶ谷小学校	17	381	180	201
社 家 小学校	19	476	245	231
杉久保 小学校	24	552	267	285
今 泉 小学校	35	937	458	479
杉 本 小学校	21	530	281	249
小学校計	282	7,101	3,627	3,474
海老名 中学校	18	506	259	247
有 馬 中学校	18	594	292	302
海 西 中学校	16	487	259	228
柏ヶ谷 中学校	20	618	333	285
大 谷 中学校	17	536	272	264
今 泉 中学校	20	624	342	282
中学校計	109	3,365	1,757	1,608
合 計	391	10,466	5,384	5,082

3 学校教育の方針

(1) 教育理念「ひびきあう教育」

海老名市の 21 世紀の教育理念として、平成 12 年に策定しました。

学習指導要領(平成 20 年 3 月)による『生きる力』を育む教育に相当します。

①子どもと大人がひびきあう

学校生活・日常生活の中で子ども同士、子どもと大、大人同士が「かかわり」を持ちふれあえるような場や環境を創り出していく。

②子どもと教師がひびきあう

- ・子どもたちの学習活動の中に人やものや自然とのかかわりが持てる活動を取り入れていく。
- ・知識や情報を交互に交換し合う場を積極的に取り入れていく。
- ・自分の考えを伝え、さらには新たな課題を仲間と共有する場を作っていく。

③学校・家庭・地域がひびきあう

保護者や地域の方々にも積極的に学校教育にかかわることを呼びかけ、共に学び育ちあう関係を築いていく。

④郷土とひびきあう

子どもたちが地域を理解し、子どもなりに地域に愛着を抱くように学習活動に地域の教材を取り入れ、地域の施設や地域の方々の協力を得て地域を身近に感じられるようにしていく。

(2) 教育施策「えびなっ子しあわせプラン」

ア 前身

- (ア) 第 1 期「学び合い・思いやり・元気なえびなっ子プラン」
(平成 22 年～24 年)
- (イ) 第 2 期「学び合い・思いやり・元気なえびなっ子プラン」
(平成 25 年～26 年)

イ 第1期「えびなっ子しあわせプラン」(平成27年～29年)

海老名市の21世紀の教育理念「ひびきあう教育」のもと、子どもたちが学校で生き生きと学習・生活するとともに、将来、自己実現を果たして、社会の一員として「しあわせ」に生きるために必要な力を、義務教育期間の9年間で確実に身につけることをねらいとして、「えびなっ子しあわせプラン」を策定しました。

当プランは、子どもたちに必要な力を「学力」「集団力」「健康安全力」とし、それを身につけるための方策とともに、今後の海老名市立学校の在り方を「小中一貫教育」「海老名型コミュニティ・スクール」とし、その実現に向けて取り組む3年間の教育計画です。

また、このプランは、海老名市教育大綱～「しあわせをはぐくむ教育」のまち海老名～の3つの施策のうちのひとつであり、家庭・学校・地域・行政の力を結集して、子どもたちの今と将来の「しあわせ」のために取り組むものです。

(ア) 身につける3つの力

- ・「学力」の向上 … 「授業改善の手引き作成委員会」の設置
- ・「集団力」の育成 … 「いのちを守るための学習計画作成委員会」の設置
- ・「健康安全力」の育成… 「人間関係づくり学習計画作成委員会」の設置

(イ) これからの学校の姿

- ・教育課程の検討
- ・「小中一貫教育」の推進… 「小中一貫教育準備委員会」の設置
- ・「海老名型コミュニティ・スクール」の導入

ウ 第2期「えびなっ子しあわせプラン」(平成30年度～令和2年度)

えびなっ子の今と将来のしあわせのために、義務教育9年間で確実に「学力」「集団力」「健康安全力」を身につけることをめざします。

(ア) 授業改善

- ・「授業改善実践推進委員会」の設置
- ・「よりよい授業づくり学校訪問【特別版】」の実施

(イ) 新たな教育課程の編成

- ・「教育課程編成研究会」の設置

(ウ) 小中一貫教育 コミュニティ・スクールの推進

- ・「新たな学校体制づくり推進委員会」の設置

(エ) その他

- ・「外国語教育推進協議会」の設置
- ・「学校 ICT 活用推進委員会」の設置
- ・「部活動推進協議会」の設置

エ 第3期「えびなっ子しあわせプラン」(令和3年度～5年度)

海老名市の子どもたちひとりひとりの学びを保障するべく、「多様性」をキーワードに、3つの重点に取り組み、「多様な学びの場と指導・支援方法の実践」、そのための「多様な支援体制と学校体制のあり方の研究」を行います。

(ア) 授業改善の実践

- ・「授業改善実践推進委員会」の設置
- ・「学校ICT活用推進委員会」の設置

(イ) 教育支援体制の充実

- ・「教育支援体制づくり検討委員会」の設置
- ・「不登校支援団体連絡会」の設置

(ウ) 特色ある学校づくりの推進

- ・「特色ある学校づくり推進委員会」の設置

(エ) その他

- ・「部活動推進協議会」の設置

4 学校紹介

	学 校 名	校章	創立	校 長	教 頭	教職員数 (R5.3.1)
1	海老名小学校		M42.11.1	奥泉 憲	石田 雅樹	38
2	柏ヶ谷小学校		S39.4.1	麻生 仁	姫野 珠実	25
3	有 鹿小学校		S31.2.11	境 景子	内山 大輔	22
4	有 馬小学校		M25.5.5	遠藤 一義	前田 潤子	21
5	大 谷小学校		S44.4.1	春山 茂樹	島仲 京子	26
6	上 星小学校		S47.4.1	和田 波代	楠 祐子	30

学校教育目標	学校教育目標
<p>生命を尊び、創造と協力の喜びを知り、心身ともに健康で調和のとれた児童の育成</p>	<p>○めざす学校像 (1)学校に関わる人たちの笑顔があふれる学校 (2)児童の学ぶ環境がしっかり整った学校 (3)地域・保護者から信頼される学校 ○めざす児童像 1)明るく 思いやりのある子〔協力〕 ・心をこめたあいさつができる。 ・力を合わせて励まし合うことができる。 2)深く考える子〔創造〕 ・相手の話をしっかり聞くことができる。 ・学ぶ楽しさ、わかる喜びを実感できる。 3)強くたくましい子〔健康〕 ・進んで丈夫な身体をつくることができる。 ・最後まで責任をもって、やり通すことができる。</p>
<p>健康でたくましい子 豊かな心、思いやりのある子 よく考え、学び合う子</p>	<p><めざす児童像>みんな柏っこ か かしく し しなやかに わ わたしらしく が がっこうだいすき や やさしくえがおで</p>
<p>未来を拓く、 心豊かなたくましい有馬の子 ～人と人との絆のなかで、共に学び合う小中9年間～</p>	<p>○生きて働く知識・技能（知識・技能） 様々な場面で学習内容を生かそうとする子 ○多様性の尊重（思考力・判断力・表現力） ひとりひとりの良さや個性を認め、尊重する子 ○自己肯定感・自己実現（学びに向かう力・人間性） 自分に自信を持ち、積極的に力を発揮する子</p>
<p>夢をもって未来を切り拓く 調和のとれた子どもを育てる</p>	<p>○目指す児童像 よく考えすすんで学ぶ有馬の子 健康でたくましい有馬の子 心豊かで思いやりのある有馬の子</p>
<p>自立・夢を拓く人 ～豊かな心 深める学び 健やかな体 社会とのふれあい～</p>	<p>A 豊かな心(徳)「笑顔いっぱい」 ・明るく潤いのある交流と協力をはぐみ、人間性豊かな「笑顔いっぱい」な児童を育てる。 B 深める学び(知)「力いっぱい」 ・自ら学ぶ意欲をもち、学ぶ喜びを味わうとともに「力いっぱい」自分の考えを表現する児童を育てる。 C 健やかな体(体)「元気いっぱい」 ・行動力に富み、心身ともに健康で生命力にあふれる「元気いっぱい」な児童を育てる。 D 社会とのふれあい(社)「あいさついっぱい」 ・地域の中で地域と共に育つ「あいさついっぱい」の児童を育てる。</p>
<p>確かな知恵と豊かな心そして丈夫な体を持ち、たくましく生きる子どもを育てる。 健康でたくましい上星の子 思いやりをもつ上星の子 よく考え工夫する上星の子</p>	<p>健康でたくましい上星の子 〔自分から進んで丈夫な体をつくり、粘り強く最後までやりぬくことができる強い心を持った子〕 思いやりをもつ上星の子 〔みんなと仲良くし、助け合うことのできる子〕 よく考え工夫する上星の子 〔主体的に学習に取り組み、学ぶ楽しみや成就感を味わうとともに、自らの適切な判断の下に行動できる子〕</p>

	学 校 名	校 章	創 立	校 長	教 頭	教職員数 (R5.3.1)
7	中新田小学校		S47.4.1	檀浦 かおり	小菌 洋	26
8	門沢橋小学校		S48.4.1	後藤 純子	潮田 佑介	21
9	東柏ヶ谷小学校		S50.4.1	小林 丈記	奥田 五成	21
10	社 家小学校		M25.5.5	梅崎 玲子	石井 友紀	21
11	杉久保小学校		S54.4.1	山川 勇	塩原 貴明	26
12	今 泉小学校		S56.4.1	和田 修二	住田 晶子	32
13	杉 本小学校		S57.4.1	小川 百合子	古畑 恒	23

学校教育目標	学校教育目標
未来を拓く、心豊かな、たくましい中小の子 ～人と人との絆のなかで、共に学び合う9年間～	『めざす子どもの姿』 ○未来を拓く子・・・「自ら学び、主体的に行動する子」 ○心豊かな子・・・「様々な人とよりよく関わろうとする子」 ○たくましい子・・・「心身共に健やかに、粘り強く取り組む子」
正しく 豊かに たくましく 誇らしく	めざす児童像 よく学び よく考える子 思いやりがあり 仲良くする子 健康で 意欲がある たくましい子
(1)丈夫で明るく はきはきした子ども (2)よく考え 進んで工夫する子ども (3)みんな仲良く きまりを守り 責任感の強い子ども (4)ものを大切にし 感謝の心をもつ子ども (5)進んでみんなのために働く子ども	理想とする東柏の子の姿「命輝く東柏っ子」 知 よく考える子(人の話をしっかり聞ける子の育成) 大切なことをしっかり聞き、自分の力で最後まで考えることができる子 徳 明るい子 (挨拶や返事ができる子の育成) 相手の気持ちを考えながら自分の気持ちを素直に表現し、しっかり返事ができる子 体 元気な子 (外で元気に遊べる子の育成) 心身ともに健康であるために自分から進んで健康な体づくりに努める子
心身ともに健康で、心豊かな子の育成をめざす (1)自ら学ぶ子 (2)思いやりのある子 (3)礼儀正しい子 (4)たくましい子	めざす学校像 ◇すべての児童が楽しく学べる学校 ◇一人ひとりが大事にされる学校 ◇さわやかなあいさつが響く学校 ◇安全・安心で信頼される学校 めざす児童像 ◇しんけんに考え学び合う子 ◇やさしい心をもち助け合う子 ◇けんこうで、ねばり強い子
自立・夢を拓く人 「健やかな心」「深める学び」 「健やかな体」「社会とのふれあい」	めざす学校像 心が通い合い、笑顔あふれる 学校 めざす子ども像 ・思いやりがあり、責任感が強い子(豊かな心) ・よく考え、本気で学習する子(深める学び) ・たくましく、気力のある子(健やかな体) ・あいさつのできる子(社会とのふれあい)
かしこく やさしく たくましく	めざす学校像 笑顔あふれる学校 めざす子ども像 ・主体的に考え、判断し、行動する子 ・自分の思いや考えを伝える子
よく考えて実行する杉本小の子 思いやりのある杉本小の子 健康でたくましい杉本小の子	めざす学校像 ○未来を創り、よりよく生きようとする力を育む学校 ○誰もが認められ、大切にされる学校 ○保護者・地域とともに歩む学校 めざす児童像 ○大切なことをしっかり聞き自分の力で最後まで考える児童 ○相手の気持ちを考えたり、自分の気持ちを表現したりすることができる児童 ○自ら進んで健康で安全な生活をしようとする児童

	学 校 名	校 章	創 立	校 長	教 頭	教職員数 (R5.3.1)
14	海老名中学校		S22.5.5	大島 直子	小坂 浩久	27
15	有馬中学校		S22.5.5	河毛 利之	久保谷 由美子	30
16	海西中学校		S49.4.1	梶山 博考	別府 裕二	31
17	柏ヶ谷中学校		S51.4.1	霜島 恵	金 佳孝	29
18	大谷中学校		S55.4.1	村松 かおり	竹島 和也	25
19	今泉中学校		S59.4.1	成岡 誠司	木村 信一郎	28

学校教育目標	学校教育目標
<p>知・情・意・体すべての面において調和のとれた人格形成を目指し、平和的な国家および社会の形成者としての資質を養うため、次の目標を掲げ、生徒の健全な育成を目指す。</p>	<p>①生徒それぞれが強い意志と実践力を持ち、人間性豊かな心を持つようになる。 ②生きてはたらく力を身につけ、豊かな創造力を持つ生徒になるようにする。 ③責任感強く、協調性のある生徒になるようにする。 ④健康で体力・気力のある生徒に育つようにする。 ⑤生徒が広く国際社会まで関心を持つとともに地域社会に関わり、共に生きる力を高めあうことを大切にする。</p>
<p>一人ひとりが生涯にわたって豊かな人生を送るために、自ら学び、自己の人格を磨き、仲間と関わる中で心身を高め合う学校 一たくましく しなやかな人の一</p>	<p>〇めざす学校像【信頼される学校】…「秩序」「活力」「安心安全」 1、確かな学力の定着をめざす学校(授業の充実・指導法の改善) 2、子どもたちの豊かな心、健やかな体を、地域の中で保護者とともに育む学校 (学年学級・行事・生徒会・部活動等・あらゆる学校教育活動をとおして) 3、安心安全な学校(安全管理・環境整備・事故防止・不審者対応) 4、地域とともにある開かれた学校(保護者・PTA・学校運営協議会・関係諸機関) 〇めざす生徒像【社会に貢献できる人】…「自立・自律」「協働」「共生」 1、自立…自ら考え、正しく判断し、主体的に自己実現を目指す生徒 2、自律…自ら道を創り出し、自らの責任において継続的に行う生徒 3、よりよい人間関係を基に、協調し行動できる生徒 4、自他の生命を尊重し、広い視野で行動できる生徒</p>
<p>未来を拓く、心豊かなたくましい海西の子の育成 ～ 人と人との絆の中で共に学び合う9年間 ～ (1) 豊かな心 (2) 深める学び (3) 健やかな体</p>	<p>実践の指針 「豊かな心と思いやりの心を持つ」「秩序がある」 「学力を伸ばし、深める」「健やかな体を作る」 (1) めざす学校像【信頼され安心できる学校】 ・豊かな心を持ち、活力のある学校 ・秩序があり、学力を伸ばす学校 ・健やかな体を持ち、生きる力を持つ学校 (2) めざす生徒像【信頼され意欲のある生徒】 ・思いやりのある行動が取れる生徒 ・挨拶がしっかりとでき、時間や決まり事が守れる生徒 ・基礎基本を身につける生徒 ・主体的に物事に取り組み挑戦する生徒</p>
<p>「たくましく生きる。共に生きる。豊かに生きる。 … 未来を生き抜く生徒の育成」</p>	<p>指標とする生徒像 (1) 自ら学ぶ意欲を持ち、良識で判断し主体的に行動できる生徒 (2) 自分自身を律する力(心)をもった生徒 (3) 誠実で思いやりがあり、創造性豊かな生徒 (4) 個性を伸ばし、心身とも健全な生徒 (5) 開かれた視野をもった生徒 (6) 「やさしい心、いたわる心、友だちを大切にする心」の三つの心を大事にする生徒 (PTA・保護者の願い)</p>
<p>< 自立・夢を拓く人 > (1) 豊かな心 (2) 深める学び (3) 健やかな体 (4) 社会とのふれあい</p>	<p>実践の指針 (1) 「豊かな心」 (2) 「深める学び」 (3) 「健やかな体」 (4) 「社会とのふれあい」</p>
<p>地域とともに生き、たくましく、しなやかに未来を拓く生徒の育成 ～ 自ら学ぶ 自ら働く 自ら磨く～</p>	<p>めざす学校像【信頼される学校】…「秩序」「活力」「健全」 1、確かな学力の定着をめざす学校(授業の充実・指導法の改善) 2、豊かな心、健やかな体を育む学校(学年学級・行事・生徒会・部活動) 3、安心安全な学校(安全管理・環境整備・事故防止・不審者対応) 4、地域とともにある開かれた学校 めざす生徒像【社会に貢献できる人】…「自主自立・自律」「協働」「共生」 1、自主…自ら考え、正しく判断し、主体的に行動できる生徒 2、自立(律)…自らの行動に責任を持ち、自己実現できる生徒 3、協働…よりよい人間関係を基に、協調し行動できる生徒 4、共生…自他の生命を尊重し、広い視野で行動できる生徒</p>

5 教職員研修

(1) 研修会

市の施策や喫緊の課題に対応し、限られた機会において最大の効果が生まれるように、研修内容を工夫し実施しました。

【令和4年度 実施内容】

	研修名 日時・会場	対象者	講師	内容(概要)
1	管理職研修会 8月2日(火) 市役所401会議室	校長及び教頭	就学支援課指導主事 Google担当者 伊藤 文康 教育長 フランクlin・ゴイ・ツヤル 担当者	・講義 「教員の働き方改革」について 「1人1台端末の活用」について 「チーム学校の実践を目指して」について
2	道徳科指導力向上 研修会 6月22日(水) オンライン開催	3年目の教諭及 び希望する教職 員	聖徳大学 大学院教授 吉本 恒幸 氏	・講義 「考え、議論する道徳の授業づ くりについて」 「特別の教科道徳」の授業実践
3	ミドルリーダー育 成研修会 5月18日(水) オンライン開催	7年目の教諭	東京学芸大学 教育部 末松 裕基 氏	・講義 「学校組織におけるミドルリー ダーとしての役割」 ・各自テーマを設定し、1年間 研究する。
4	初任者研修会	初任者教職員		・採用時研修 ・えびな地域講座 ・宿泊(デイキャンプ)研修 ・終了時研修 ・研究授業、協議会、他校訪問
5	人権教育研修会 7月27日(水) 海老名市文化会館 小ホール	H27以降の 未受講者1名及 び希望する教職 員	永野・山下・平 本法律事務所 弁護士 山下 敏雅 氏	・講義 「一人ひとりが大切にされるっ てどんなこと?子どもと人権」
6	情報セキュリティ 研修会 5月16日(月) オンライン開催	校長及び 情報教育(セキ ュリティ)担当 者及び希望者	教育支援課 指導主事	・講義 「情報セキュリティについて」
7	情報モラル研修会 10月11日(火) こどもセンター	3年目の教諭及 び希望する教職 員	教育支援課 指導主事	・講義 「情報モラル教育の推進」 「ネットトラブルの事例から児 童生徒への指導について」

8	小学校外国語教育 研修会 7～9月 動画視聴	希望する 小学校教職員	教育支援課 指導主事	・講義 「外国語・外国語活動の授業づくり」
9	新採用教職員希望 研修会 令和5年3月27日(月) こどもセンター	令和5年度 新採用教職員 (希望者) 及び希望する教 職員	初任者指導ア ドバイザー 野中 信行	・教職員としての服務について ・情報セキュリティについて ・社会人としてのマナーや礼儀 について ・講義 「学級づくりのあり方」

(2) 希望研修・講座

	研修名 日時・会場	講師	内容(概要)	参加者数
1	「図画工作・美術科 の授業づくり」 7月26日(火) 柏ヶ谷小学校	元海老名市中学校長 秋島 優子 氏 秋庭 博行 氏	講師による授業実演・講義をと おして、図画工作・美術科の授業改 善を図る研修講座	16人
2	よりよい授業づく りのための学校訪 問【特別版】 ①7月1日(有馬小) ②9月20日(社家小) ③10月4日(柏ヶ谷中) ④1月27日(今泉小)	國學院大學人間 開発学部 田村 学 氏	・実施校による授業公開 ・講義 「『主体的・対話的で深い学び』の ための授業づくり」	①12人 ②14人 ③14人 ④11人 (他、会場 校職員)
3	道徳科指導力向上 研修会 6月22日(水) オンライン開催	聖徳大学 大学院教授 吉本 恒幸 氏	・講義 「考え、議論する道徳の授業づく りについて」 「特別の教科道徳」の授業実践	37人
4	情報モラル研修会 10月11日(火) こどもセンター	広島県教科用図 書販売株式会社 東京営業所 田中 武司 氏	・講義 「情報モラル教育の推進」 「『事例で学ぶNetモラル』教材の 活用について」	24人
5	人権教育研修会 7月27日(水) 海老名市文化会館 小ホール	永野・山下・平本 法律事務所 弁護士 山下 敏雅 氏	・講義 「一人ひとりが大切にされるって どんなこと？子どもと人権」	28人

6	支援教育研修会Ⅰ 8月4日(木) 市役所401会議室	神奈川県教育局 インクルーシブ教育推進課 指導主事 教育支援課支援 係指導主事	講義 「インクルーシブな学校教育に向けて」 「多様性をいかした学級づくり」	教職員 76人 その他 3人
7	支援教育研修会Ⅱ 8月3日(水) 神奈川県立えびな 支援学校	海老名市立今泉小学校 教育相談コーディネーター 北邨 恵順 氏	・講義 「インクルーシブな学校に向けて の実践」	教職員 88人 その他 5人
8	えびな地域講座 7月27日(水) 海老名小学校 郷土資料館	教育専門指導員 温故館 学芸員	・講義 「海老名の歴史・郷土地理」 ・史跡めぐり等実地研修	31人

(3) 担当者会議

	会議名 日時・会場	対象者	内容(概要)
1	地域連携・小中一貫教育担当者会議 6月16日(木) オンライン開催	地域連携・小中一貫教育担当者	・「コミュニティ・スクール」「地域学校協働による9年間のカリキュラムマネジメント」等の説明 ・他中学校区との情報交換・協議 ・中学校区ごとに今年度の取組の検討
2	外国語教育担当者会議 ①4月11日(月) こどもセンター ②2月22日(木) オンライン開催	外国語教育担当者	・令和4年度の外国語教育の取組について ・ALTの派遣について ・令和5年度の外国語教育の取組について
3	図書館教育担当者会議 4月26日(火) オンライン開催	図書館教育担当者	・学校図書館を活用した読書活動・学習活動の充実に向けて ・電子図書館の導入スケジュールの概要について
4	健康教育担当者会議 5月9日(月) オンライン開催	保健担当者養護教諭	・感染症対策について ・こども育成課 「相談窓口」の設置について
5	食育担当者会議 ①5月20日(金) オンライン開催 ②11月9日(水) 食の創造館	食育担当者・栄養教諭	・食育ネットワークについて ・中学校完全給食に向けて ・食育の推進について ・「職に関する年間指導計画」について

6	防災教育 担当者会議 4月21日(木) こどもセンター	防災教育 担当者 (または学校 安全担当者)	<ul style="list-style-type: none"> ・海老名市の防災教育について ・携帯ヘルメット「タタメット」の貸与について 「避難確保計画について」 ・土砂災害警戒区域について ・水害時の避難所開設について
7	ICT教育 担当者会議 9月14日(水) こどもセンター	ICT教育担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・講義 「ICT機器の整備活用」について ・説明 「機器更新」について
8	人権教育 担当者会議 5月25日(水) 動画視聴による書 面開催	人権教育 担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・講義 「国、県、市の方針」について 「性の多様性」について ・情報提供 「アクティビティ」の紹介 ・説明 「令和4年度人権教育研修の割り当てについて」
9	国際教育 担当者会議 4月25日(月) こどもセンター	国際教育 担当者及び 日本語指導講師 (希望者)	<ul style="list-style-type: none"> ○国際教育担当者の役割 ・支援に関すること ・個別の指導計画 ・情報提供、交換
10	児童・生徒指導担 当者会議 4月13日(水) こどもセンター	児童・生徒指 導担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒指導の重点課題について ・児童・生徒指導体制について ・ヤングケアラー・虐待について ・各中学校区情報交換
11	児童指導担当者会 議 6月15日(水) 10月26日(水) 2月14日(火) 教育支援センター 学習室	児童指導担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校の今年度の計画について ・児童指導上に関する情報交換 ・関係機関から情報提供
12	教育相談 コーディネーター 担当者会議 4月28日(木) 教育支援センター 学習室 10月27日(木) 2月2日(木) こどもセンター	教育相談 コーディネーター	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供 ・中学校区毎の情報交換

13	教科書事務 担当者会議 4月8日(金) 7月8日(金) 1月23日(月) 3月28日(火) こどもセンター	教科書給与事 務担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書制度について ・教科書給与事務について
14	キャリア教育 担当者会議 5月11日(水) こどもセンター	キャリア教育 担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育の意義 ・キャリアパスポートについて ・職業に触れるキャリア教育 ・情報交換

(4) 協議会

	会議名 日時・会場	対象者	内容(概要)
1	現職教育運営 協議会 4月18日(月) 1月18日(水) 2月27日(月) こどもセンター	校長会代表2名 研究会長2名 教頭会代表2名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度研修計画について ・令和4年度の成果と課題の報告と令和5年度の方向性
2	幼・保・小・中連絡 協議会 1～2月(中学校 区ごとに決定) 海老名小学校 門沢橋小学校 中新田小学校 柏ヶ谷小学校 大谷小学校 上星小学校	中学校区担当 校長、小学校・ 中学校・幼稚 園・保育所・療 育機関等の担 当者	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観 ・報告、協議、情報交換 <p>「架け橋期のカリキュラム」作成に向けて</p>

(5) ひびきあう教育

海老名市の21世紀の教育理念「ひびきあう教育」の推進に向けて、各学校の教育活動の充実を図るため、市内の小・中学校に教育実践研究を委託しています。その中から研究指定校を指定し、研究の一層の推進を図っています。

ア 校内研究

学校名	研究テーマ
海老名小学校	自ら考えを広げようとする子 ～話し合い活動の充実を通して～
柏ヶ谷小学校	一人一人が学びをたのしむ授業 ～個別最適な学びの実現を目指して～
有鹿小学校	伝え合い、認め合い、学びを楽しめる子の育成 ～子どもも大人も、一往復半の対話的な学びを目指して～
有馬小学校	自己の生き方についての考えを深める道徳科 ～自ら考えを深めようとする姿を目指して～
上星小学校	自ら考え、主体的に取り組む子どもの育成 ～生活科・理科・社会科における ICT の効果的な活用法を通して～
中新田小学校	考えを深め 広げられる児童の育成をめざして ～道徳教育を通して～
門沢橋小学校	自分の考えを広げることができる子の育成の育成 ～言葉がもつよさを伝えるための言語活動の工夫を通して～
東柏ヶ谷小学校	よく考えて自ら取り組む児童の育成 ～自己を見つめ 考えを深める道徳教育～
社家小学校	互いに認め合い 主体的に学ぶ社家っ子をめざして ～問いをもたせ自分事として考えさせる指導の工夫～
杉久保小学校	自分の考えを持ち、伝え合うことで考えを深められる杉の子 をめざして ～国語科における読む活動を通して～
今泉小学校	思いや願いの実現に向けて、みんなと学びを深める子の育成
海老名中学校	教科等横断的な学習の推進
有馬中学校	「UD、R - PDCA サイクルによる授業改善の継続・定着」 『「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業づくり、 授業改善の実践』
海西中学校	人間関係づくりに生きる主体的・対話的で深い学びの研究
大谷中学校	「問い」を軸とした深める学びの展開
今泉中学校	道徳科における「深い学びにつながる『中心発問』の設定」

イ ひびきあう教育研究指定校

	学校名	研究テーマ
研究委託校	大谷小学校	主体的・対話的で深い学びの実現を目指して ～対話により道徳的価値の理解を深め、自己の生き方について考えを深める道徳科の工夫～
	杉本小学校	かかわり合いながら、主体的に学ぶ子どもの育成 ～「自分の考え」の形成を促す授業づくり～
	柏ヶ谷中学校	ICT活用による学習効果の向上向上 ～クロームブック導入2年目の取り組み～

ウ ひびきあう教育研究発表大会

ひびきあう教育研究指定校は、研究内容の充実や市内での成果の共有化を図るためにも、ともに「ひびきあう教育」について考えるためにも、学校関係者や保護者、市民に研究の成果を公開しています。

日時	令和4年8月22日（火）	
会場	海老名市文化会館	
講演会	【演題】 人生を主体的に生きる～「7つの習慣」を手法として～ 【講師】 フランクリン・コヴィー・ジャパン株式会社 代表取締役副社長 竹村 富士徳 氏	
	学校名	研究テーマ
令和三年度 研究委託校	中新田小学校	考えを広げ、深められる児童の育成をめざしてめざして ～自己を見つめる道徳を通して～
	海西中学校	人間関係づくりに生きる主体的・対話的で深い学びの研究
	門沢橋小学校	伝え合い、深く考える子の育成 ～表現活動や話し合い活動の工夫を通して～

(6) 訪問指導(よりよい授業づくり)

ア よりよい授業づくり訪問指導

「えびなっ子しあわせプラン」の柱である「授業改善」をテーマに、授業を公開し、語り合うことで、よりよい授業づくりの一助とすることを目的としています。

学校名	日にち	授業公開数(名)
杉本小学校	令和4年 6月 9日	1 1
有馬中学校	令和4年 7月 4日	2 1
大谷小学校	令和4年 9月 8日	1 1
海老名中学校	令和4年 10月 25日	1 3
大谷中学校	令和5年 1月 19日	1 7
有鹿小学校	令和5年 2月 17日	1 6

イ よりよい授業づくり訪問指導【特別版】

公開研究授業、参加者による協議会、講師による講義をとおして、今求められている授業「主体的・対話的で深い学び」について、教職員ひとりひとりが理解を深め、授業改善を図ることを目的としています。

学校名	日	授業公開数(名)
有馬小学校	令和4年 7月 1日	1 3
社家小学校	令和4年 9月 20日	1 9
柏ヶ谷中学校	令和4年 10月 4日	2
今泉小学校	令和5年 1月 27日	2

6 教育支援

(1) 学校ICT・プログラミング教育

情報化社会で必要とされる情報活用能力を身に付けた児童生徒を育成するために、学校ICTの活用を行っています。また、プログラミング的思考により広がる可能性を追求し、未来で活躍するえびなっ子の育成に努めています。

ア ICT教育推進計画

学校ICTの環境整備とその活用について、令和4年度ICT教育計画に基づいて、計画的に推進していきます。また、GIGAスクール構想で導入されたタブレット端末については、各教科での活用に加え、家庭への持ち帰りを実施し活用を推進していきます。

イ ICT機器整備状況

学校名	1人1台端末		固定プロジェクト数
	iPad	Chromebook	
海老名小学校	957	0	30
柏ヶ谷小学校	447	0	18
有鹿小学校	563	0	21
有馬小学校	292	0	13
大谷小学校	614	0	21
上星小学校	766	0	24
中新田小学校	491	0	18
門沢橋小学校	544	0	19
東柏ヶ谷小学校	440	0	18
社家小学校	525	0	18
杉久保小学校	643	0	23
今泉小学校	924	0	27
杉本小学校	593	0	20
海老名中学校	10	549	20
有馬中学校	10	657	19
海西中学校	10	555	17
柏ヶ谷中学校	10	698	22
大谷中学校	10	594	17
今泉中学校	10	683	20

ウ ICT関連研修状況

	研修名 日時・会場	講師	内容(概要)
1	1人1台端末・学習者用デジタル教科書活用研修会 令和4年7月～9月 希望する学校	教育支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・【講義】学習者用デジタル教科書の概要 ・【講義・演習】1人1台端末の具体的実践例
2	iPad活用研修会 令和4年7月25日(月) こどもセンター	Apple 担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・【講義・演習】 ・いろいろな表現方法を体験しよう ・授業に活用するためのアイデア出し
3	情報セキュリティ研修会 令和4年5月16日(月) オンライン開催	教育支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・【講義】情報セキュリティについて ・【協議】自校の情報セキュリティについて
4	ICT教育担当者会 令和4年9月14日(水) こどもセンター	教育支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度の機器更新について ・学習eポータルについて ・GIGA運営支援センターについて ・1人1台端末の活用に向けて
5	情報モラル研修会 令和4年10月11日(火) こどもセンター	広島県教科用図書販売株式会社 東京営業所 担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・【講義・演習】 ・情報モラル教育の推進について ・『事例で学ぶNetモラル』教材の活用について
6	情報セキュリティ研修 令和4年10月～11月 各勤務校	オンライン (eラーニング)	個人情報保護コース
7	学習eポータル説明会 令和5年1月～3月 各小中学校	教育支援課 内田洋行株式会社 担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・【説明】学習eポータルの概要・導入経緯 ・【演習】教材・アプリの配信 MEXCBTの利用

エ 情報教育支援員派遣

海老名市内公立小中学校におけるパソコンおよびタブレット機器とICT機器全般の教職員のサポートを行うことを目的として、全校で6名の情報教育支援員を派遣しています。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
派遣回数	各校20回	各校20回	各校30回

オ プログラミング教育支援員派遣

海老名市内公立小学校のプログラミング授業のサポートを行うことを目的として、希望する学校に支援員を派遣しています。打ち合わせを行い、教材選びから指導案作りまで、授業の当日までサポートしています。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
派遣校数	7校	10校	9校
派遣時間	297時間	212時間	333時間

※活動報告書作成時間含む

(2) 外国語教育

ア 外国語教育実施計画

海老名市の児童生徒が、わがまち海老名で育ったことに自信と誇りを持ち、身近な人々はもちろん、世界の多種多様な人々との出会いを楽しみ、お互いを尊重しながら、協働して社会に参画していく姿を目指し、外国語教育を推進しています。

イ 教職員研修

(ア) 小学校英語専科担当教員による研究実践

指導体制において示した英語専科担当教員は、小学校の担任主導の授業づくりのための研究モデルとしての役割をもちます。専科担当教員による授業公開・協議会をとおして、市としての英語の授業の研究を進めていきます。

(イ) 外国語教育担当者会

国や県、市の方針を確認し、取組状況について情報交換を行うとともに、授業力向上と授業改善を図っています。

(ウ) 小学校外国語教育研修会

小学校における外国語活動及び外国語科の授業実践力を高めるとともに、具体的な評価方法についての共通理解を図ることが目的です。各校で研修動画を視聴する形で実施しています。

(エ) 外国語科・外国語活動年間時間数及びALT派遣状況

・小学校（ALT派遣：10名）

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
時間数	10	10	35	35	70	70

・中学校（ALT派遣：3名）

	1年生	2年生	3年生
時間数	140	140	140

(3) 特別支援教育

ア 特別支援学級

本市では、市内小中学校全校に特別支援学級を設置しています。特別支援学級への入級については、児童生徒の障がいの状況や教育的ニーズについて海老名市教育支援委員会において審議を行い、海老名市教育委員会が決定しています。

近年、市内の特別支援学級在籍児童生徒数は増加傾向にあります。そのような中、すべての小中学校に設置している知的障がい学級、自閉症・情緒障がい学級に加え、児童生徒の教育的ニーズに応じた特別支援学級を設置し、一人ひとりに合わせた適切な指導及び必要な支援を行っています。

【特別支援学級在籍児童生徒数・職員数】(令和5年5月1日時点)

種別	学校名	児童生徒数	職員数
知的障害	海老名小学校	7	1 (1)
	柏ヶ谷小学校	6	1
	有鹿小学校	2	1
	有馬小学校	3	1
	大谷小学校	5	1
	上星小学校	7	2 (1)
	中新田小学校	2	1
	門沢橋小学校	4	1
	東柏ヶ谷小学校	6	1
	社家小学校	5	1
	杉久保小学校	3	1
	今泉小学校	11	2
	杉本小学校	8	2 (1)
	小 計	69	16 (3)
自閉症 情緒障害	海老名小学校	18	3 (1)
	柏ヶ谷小学校	5	1
	有鹿小学校	11	2
	有馬小学校	4	1
	大谷小学校	8	1
	上星小学校	9	2
	中新田小学校	10	2
	門沢橋小学校	11	2
	東柏ヶ谷小学校	9	2
	社家小学校	4	1
	杉久保小学校	9	2 (1)
	今泉小学校	13	2 (1)
	杉本小学校	9	2
	小 計	120	23 (3)
肢体不自由	海老名小学校	2	1
	有鹿小学校	1	1
	杉久保小学校	1	1
	今泉小学校	1	1
小 計	5	4 (0)	
病弱 身体虚弱	有鹿小学校	1	1
	杉久保小学校	1	1
	今泉小学校	1	1
	杉本小学校	1	1
小 計	4	4 (0)	
言語障害	海老名小学校	1	1
小 計	1	1 (0)	
小学校合計	199	48 (6)	

種別	学校名	児童生徒数	職員数
知的障害	海老名中学校	6	2 (1)
	有馬中学校	4	3
	海西中学校	4	2
	柏ヶ谷中学校	7	1 (1)
	大谷中学校	1	1
	今泉中学校	5	1
	小 計	27	10 (2)
自閉症 情緒障害	海老名中学校	9	2
	有馬中学校	7	3 (1)
	海西中学校	7	1 (1)
	柏ヶ谷中学校	12	2 (2)
	大谷中学校	5	1
	今泉中学校	5	1 (1)
小 計	45	10 (5)	
肢体不自由	今泉中学校	1	1
小 計	1	1 (0)	
病弱身体虚弱	海老名中学校	1	1
小 計	1	1 (0)	
中学校合計	74	22 (7)	
小中学校合計	273	70 (13)	

※カッコ内数値は、県施策による加配数(内数)

【特別支援学校就学状況(小中学部計)】

(令和5年5月1日時点)

学校名	小学部	中学部	合 計
平塚盲学校	0	1	1
横浜南支援学校	0	1	1
えびな支援学校(知的)	11	18	29
えびな支援学校(肢体)	3	6	9
横浜市立浦舟特別支援学校	0	1	1
東京都立光明学園	1	0	1
合 計	15	27	42

イ 通級指導教室

本市には、言語面や情緒面に困難さがある児童生徒について、学校生活や学習の課題を改善し、または克服することを目的とする「通級指導教室」が市内小中学校7校に設置されています。ことばやきこえに困り感がある児童が通う「ことばの教室」は小学校3校に、生徒が通う「じりつの教室」が中学校2校に設置されています。また、対人関係や感情の調整に困り感がある児童が通う「そだちの教室」が小学校2校に設置されています。

また、平成30年度、令和2年度、令和4年度に設置した3校については、拠点校を中心とした巡回型の通級指導教室となっています。

【通級指導教室 児童生徒数】(令和5年5月1日時点)

設置校	児童生徒在籍学校名	児童生徒数	職員数
柏ヶ谷小学校 ことばの教室 【言語】	海老名小学校	8	4
	柏ヶ谷小学校	16	
	有鹿小学校	2	
	上星小学校	9	
	東柏ヶ谷小学校	4	
	今泉小学校	6	
	杉本小学校	4	
	小 計	49	
杉久保小学校 ことばの教室 【言語】	海老名小学校	13	4
	有鹿小学校	4	
	大谷小学校	8	
	杉久保小学校	29	
	小 計	54	
有馬小学校 ことばの教室 【言語】 ※巡回型	有馬小学校	20	4
	中新田小学校	7	
	門沢橋小学校	19	
	社家小学校	15	
	小 計	61	
大谷中学校 じりつの教室 【言語】 ※巡回型	海老名中学校	1	2
	有馬中学校	3	
	大谷中学校	19	
	小 計	23	
海西中学校 じりつの教室 【言語】 ※巡回型	海西中学校	11	2
	柏ヶ谷中学校	10	
	今泉中学校	7	
	小 計	28	
中新田小学校 そだちの教室 【情緒】	海老名小学校	9	4
	有鹿小学校	1	
	有馬小学校	1	
	大谷小学校	8	
	中新田小学校	9	
	門沢橋小学校	1	
	社家小学校	2	
	杉久保小学校	4	
	小 計	35	
上星小学校 そだちの教室 【情緒】	海老名小学校	2	4
	柏ヶ谷小学校	8	
	有鹿小学校	1	
	上星小学校	31	
	東柏ヶ谷小学校	2	
	今泉小学校	6	
	杉本小学校	7	
	小 計	57	
合 計		250	24

ウ 教育相談

児童生徒一人ひとりの諸課題について、保護者や学校の相談に応じ、ともに適切な支援方法やよりよい学びの場について話し合います。また、未就学児の保護者を対象に、就学相談を実施し、就学児もその保護者も安心して小学校教育を送ることができるように、保育所や幼稚園、療育施設等の所属機関や就学先の小学校と連携をしています。

エ 介助員・看護介助員の派遣

本市では、身辺処理の介助、移動の介助や安全確保、学習活動の支援を行う介助員を、主に特別支援学級に派遣しています。また、医療的ケアを必要とする児童生徒が在籍している学校に、看護介助員を派遣しています。

オ 言語聴覚士による巡回指導

特別支援学級に在籍する言語にかかわる障がい等のある児童生徒に対して、巡回指導を行っています。摂食や嚥下等に困難さがある場合には、機能訓練も行っています。

(4) 人権教育

学校教育において、人権ふれあい教育を推進しています。各学校においては教師一人ひとりが人権ふれあい教育についての理解を深め、「人と人とのふれあい」「人と自然とのふれあい」「社会とのふれあい」等の実践的活動ができるよう、全教育活動を通して積極的に推進を図っています。

「『個性、共生、共育』の意識づくり」「差別をしない、させない、許さない」「地域との協働や体験学習の充実」の3つの基本方針を基に、令和4年度も、今日的な人権課題について研修を行い、教職員の人権に係る意識向上を図るとともに、児童生徒が自分と違う他者や多様性について考えることを重点として取組を進めました。

ア 教職員研修・会議

	研修・会議名 日時・会場	講師	内容(概要)	参加者数
1	人権教育担当者会議 5月25日(水) 動画視聴による 書面開催		動画視聴による書面開催。国や県、市の人権教育に対する方針の確認と人権課題に関する情報提供や各学校の計画を共有した。	19名
2	人権教育研修会 7月27日(水) 文化会館小ホール	永野・山下・平 本法律事務所 山下 敏雅 氏	市の人権教育担当指導主事から人権課題についての講義。 講師には、「一人ひとりが大切にされるってどんなこと？子どもと人権」という題で、事例を交えながら講演いただいた。	28名
その他、各人権団体や県・県央教育事務所が主催する研修会等への参加				

イ 児童生徒対象事業

性的マイノリティについて正しく理解することを通して、偏見や差別をすることなく、多様性を受け入れ、共生していこうとする心情を養うため、中学校2年生を対象として性の多様性に関する講演会を平成30年度より行っています。多様性を受け入れる大切さについて、自分自身を振り返りながら考える機会として継続して取り組んでいます。

また、小学校2年生を対象に人権擁護委員による「人権教室」を行っています。毎年4校程度の学校で実施できるよう調整をしています。

予算（円）	実施校数	講師	対象者
180,000	中学校6校	ダイバーノン代表 飯田 亮瑠氏	中学2年生

ウ 配付物

「子どもの権利条約」を小学4年生と中学1年生全児童生徒を対象として配付しています。

	配付物	対象者	配付数
小学校	子どもの権利条約	4年生	1,149部
中学校	子どもの権利条約	1年生	1,185部

(5) 新たな学校体制づくり

ア 小中一貫教育

小中一貫教育の推進を重点とし、同じ中学校区の小中学校教員が目指す児童生徒像を共有し、9年間の学びのつながりをつくることで、義務教育9年間で最大限有効に使った教育活動を展開しています。

各中学校区で、年度末に小学校6年生が中学校の授業を見学したり、部活動を体験したりしています。有馬中学校区は、学区が広範囲に渡るため、移動支援のためのバスを配車しています。

イ 学校運営協議会

市内小中学校すべてに学校運営協議会を設置しています。保護者、地域住民の学校運営への参画の促進及び協働を進めることにより、学校と保護者、地域住民等との信頼関係を深め、一体となって学校を支援するとともに、児童生徒の豊かな学びと健やかな育ちの創造に取り組んでいます。

柏ヶ谷中学校区については、中学校1校、小学校3校による学校運営協議会を実施しています。中学校区で、児童生徒の9年間の学びや成長、そして未来について協議を重ねています。

年度	実施回数	委員委嘱人数
令和元年度	61	231
令和2年度	29	218
令和3年度	47	217
令和4年度	63	209

(6) 学校図書館

「主体的・対話的で深い学び」を実現する場として、学校図書館の活用推進を図るため、学校図書館を充実させ、新聞を配架しています。「読書センター」の機能だけでなく、「学習センター」「情報センター」としての学校図書館の機能を発揮できるよう、読み物の図書に加え、授業等学校教育活動にかかわる図書の蔵書増進を図っています。

ア 蔵書

「学校図書館図書標準」を満たした蔵書構成、学校図書館の蔵書の質的な充実に努めています。

【小学校】

学校名	蔵書数(冊)
海老名小学校	9,930
柏ヶ谷小学校	8,540
有鹿小学校	10,365
有馬小学校	8,459
大谷小学校	10,121
上星小学校	8,769
中新田小学校	9,475
門沢橋小学校	8,222
東柏ヶ谷小学校	9,448
社家小学校	8,974
杉久保小学校	9,689
今泉小学校	9,825
杉本小学校	9,401

【中学校】

学校名	蔵書数(冊)
海老名中学校	9,585
有馬中学校	9,148
海西中学校	10,230
柏ヶ谷中学校	8,446
大谷中学校	8,335
今泉中学校	10,354

※令和4年2月25日現在

イ 図書館支援員

平成26年度より市内小中学校に学校図書館支援員を配置し、学校図書館の環境整備、選書、蔵書点検、児童生徒および教職員への資料提供や授業支援、調べ学習支援を行っています。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
派遣人数	13人	13人	12人	13人
各校派遣日数	94日	94日	94日	94日

(7) 屋内プール水泳学習

老朽化や安全対策のため、平成19年度から市内の屋内温水プールを利用して、小中学校の水泳学習を施行しました。現在では全校の学校プールを廃止し、屋内温水プールにて水泳の授業を実施しています。

	決算(円)	延べ実施回数	延べバス台数
小学校	24,773,803	268回	460台
中学校	823,240	12回	14台

(8) 部活動充実支援

部活動の実践的活動を支援し、円滑な実施及び充実、推進を図るとともに、部活動の指導者を派遣することにより、技術の向上・活動の活性化を図ります。

ア 部活動実施（設置）状況

<運動部>

	部活動名	海老名	有馬	海西	柏ヶ谷	大谷	今泉
1	サッカー	●	●	●	●	●	●
2	野球	●	●	●	●	●	●
3	バスケットボール	●	●	●	●	●	●
4	ソフトテニス	●	●	●	●	●	●
5	バレーボール	●	●	●	●	●	
6	バドミントン		●	●	●	●	●
7	剣道		●	●	●	●	
8	陸上競技		●	●			●
9	卓球			●	●		
10	ラグビー				●		
11	ソフトボール					●	●

<文化部>

	部活動名	海老名	有馬	海西	柏ヶ谷	大谷	今泉
1	吹奏楽	●	●	●	●		●
2	合唱		●	●		●	●
3	リコーダーアンサンブル					●	
4	英語	●			●		
5	技術家庭科（技術）		●		●		●
6	社会研究			●			
7	パソコン（P研究）					●	●
8	美術（美術・アートクラフト）		●	●	●	●	●
9	自然科学アート（自然科学）	●				●	●
11	文芸（芸術）イラスト（漫画）			●	●		
12	囲碁将棋（将棋）			●	●		●
13	写真				●		
14	放送						●

イ 部活動指導員派遣（人数）

	海老名	有馬	海西	柏ヶ谷	大谷	今泉
運動部	2	2	3	2	4	1
文化部	2	3	1	2	1	2

ウ 部活動支援員派遣（人数）

	海老名	有馬	海西	柏ヶ谷	大谷	今泉
運動部	3	9	6	8	8	5
文化部	2	7	7	4	0	3

(9) 学習支援ボランティア

海老名市の小・中学校に在籍する児童・生徒が学習や生活等の支援を必要とする場合、ボランティアを派遣することにより、本市の教育の向上に資することを目的としています。

活動の内容は配慮を必要とする児童・生徒への生活支援、授業における学習支援、放課後における学習支援、その他学校の要請に応じられる支援となっており、報酬は活動1回につき、1,100円を支給しています。

派遣状況(延べ人数)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
小学校	1,559	2,637	2,642
中学校	48	149	79

7 教育相談

(1) 相談内容及び件数

相談内容	全相談件数							
	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	総数	実数	総数	実数	総数	実数	総数	実数
犯罪・触法	0	0	0	0	0	0	24	4
虞犯不良行為	126	17	46	9	17	8	30	6
神経精神（発達）	216	135	223	115	379	177	282	188
家庭内暴力	35	6	22	4	122	27	4	4
家族関係	601	176	682	162	684	180	646	158
いじめ	11	9	4	4	8	5	5	5
不登校	926	235	1231	289	2161	317	2091	330
学業・進路・進学	240	191	221	141	232	178	297	218
学校生活	107	42	47	16	47	30	44	29
男女交際	0	0	0	0	0	0	0	0
性の悩み	1	1	0	0	0	0	0	0
対人関係	0	0	0	0	0	0	1	1
その他	4	4	10	8	26	16	3	3
合計	1932	678	2273	820	2502	756	3527	946

8 安全対策

(1) 人的支援について



ア 通学路巡回パトロール員

人 数	18 名 ・ 2 名ずつ 3 台に分けて巡回 ・ 登校時・下校時に各 6 名体制
車両台数	3 台 ・ 青色防犯パトロール車
巡回場所	市内全域の通学路 ・ 北部・中部・南部のエリアごとに巡回
巡回時間 (原則)	登校時： 7 時 30 分～ 9 時 30 分 下校時： 12 時 30 分～16 時 30 分
年間巡回日数	207 日



イ 学校安全監視員

人 数	39 名 ・ 小学校 13 校に各 3 名 ・ 午前・午後に各 1 名体制
配置場所	市立小学校 13 校
配置時間 (原則)	午前： 8 時 00 分～12 時 00 分 午後： 12 時 00 分～16 時 00 分
年間配置日数	207 日



ウ 通学路立哨員

人 数	2 名 ・ 登校時・下校時に各 1 名体制
配置場所	市立柏ヶ谷小学校の通学路
配置時間 (原則)	登校時： 7 時 40 分～ 8 時 40 分 下校時： 14 時 20 分～16 時 20 分
年間配置日数	207 日

(2) 不審者情報

年度	露出	声かけ	暴行	盗撮	つきまとい	その他	合計
H26	7件	6件	2件	9件	5件	7件	36件
H27	3件	9件	4件	4件	4件	6件	30件
H28	12件	11件	1件	1件	4件	1件	30件
H29	6件	9件	3件	2件	3件	2件	25件
H30	6件	16件	1件	7件	5件	5件	40件
R01 (H31)	7件	8件	1件	4件	1件	7件	28件
R02	6件	12件	4件	2件	12件	3件	39件
R03	17件	8件	3件	1件	5件	4件	38件
R04	9件	19件	1件	1件	6件	8件	44件

(3) 新型コロナウイルス感染症対策について

ア 物品の購入

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校に感染症対策物品を購入しました。また、学校に予算を配当し、学校長の裁量により物品を購入することで、迅速な対応を図ることができました。

(令和4年度)

学校名	合計支出額	配当		
		市予算	学校配当	
小学校	海老名	2,051,670	702,526	1,349,144
	柏ヶ谷	1,530,011	235,730	1,294,281
	有鹿	2,019,782	427,196	1,592,586
	有馬	1,007,371	366,813	640,558
	大谷	2,047,337	667,502	1,379,835
	上星	2,046,927	489,181	1,557,746
	中新田	1,518,969	209,517	1,309,452
	門沢橋	2,046,384	591,965	1,454,419
	東柏ヶ谷	1,531,973	224,191	1,307,782
	社家	1,502,256	347,050	1,155,206
	杉久保	2,043,012	244,310	1,798,702
	今泉	2,031,629	853,086	1,178,543
	杉本	2,012,215	370,436	1,641,779
中学校	海老名	2,067,390	429,902	1,637,488
	有馬	2,052,705	375,672	1,677,033
	海西	1,538,430	378,290	1,160,140
	柏ヶ谷	2,057,087	569,910	1,487,177
	大谷	2,052,462	631,730	1,420,732
	今泉	2,034,489	712,998	1,321,491

＜購入物品例＞
 薬用ハンドソープ
 アルコール消毒液
 お掃除シート
 ペーパータオル
 ポリエチレン手袋
 空気清浄機 等

(単位：円)

イ ガイドラインの作成

(ア) 海老名市立小中学校の学校再開ガイドライン

緊急事態宣言の解除後の学校教育活動の再開に向け、「海老名市立小中学校の学校再開ガイドライン」を作成しました。このガイドラインでは、令和2年6月1日（月）からの分散登校や児童生徒への保健指導「えびなっ子スタイル」、長期休業期間の短縮、心のケアなど学校再開にあたっての詳細を定めたものです。

(イ) 「学校の新しい生活様式」ガイドライン

令和2年7月、海老名市の新型コロナウイルス感染症対策本部会議により海老名市内地域の感染状況を判断しレベルで表し、そのレベルに準じた教育活動の行動基準を「『学校の新しい生活様式』ガイドライン」として策定しました。令和3年度は、ウイルスの変異株の出現により再び緊急事態宣言が県下に発令され、対策の強化が求められました。

令和4年度は、オミクロン株と呼ばれる変異株が主となり、感染力が強いためより罹患しやすく、健康観察の強化と医療機関への受診・相談、医療用抗原検査キット等を使用した対策等を求めました。また、地域の感染状況に合わせてレベルを捉え直し、学校教育活動を継続できるよう方針を示しました。

	名称	策定日時	地域の 感染レベル	備考
1	海老名市立小中学校の 学校再開ガイドライン	令和2年5月27日	なし	～5/31 臨時休業 6/1～12 分散登校
2	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和2年7月1日	レベル1	教育課程再編成
3	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和2年11月1日	レベル1	健康管理カード導入 開始
4	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和2年12月1日	レベル2	11月中旬から 感染者増加傾向
5	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和3年1月8日	レベル3	1/7 緊急事態宣言発出
6	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和3年4月1日	レベル2	4/1～リバウンド防止期間 4/16 まん延防止等重点措置対 象
7	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和3年7月1日	レベル1	6/21 まん延防止等重点 措置解除
8	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和3年8月23日	レベル3	8/2 緊急事態宣言発出

	名称	策定日時	地域の 感染レベル	備考
9	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和3年9月3日	レベル3	8/27 2学期開始 登校時検温
10	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和3年10月1日	レベル2	10/1 緊急事態宣言解除
11	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和3年10月16日	レベル1	感染者数減少続く
12	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和3年12月22日	レベル1	年末年始に向けて
13	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和4年1月20日	レベル2	1/21～まん延防止等重点 措置適用
14	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和4年2月24日	レベル2	2/4 オミクロン株に対応 した感染症対策
15	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和4年3月22日	レベル2	3/22 まん延防止等重点 措置解除
16	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和4年4月5日	レベル2	新年度に向けて
17	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和4年5月18日	レベル2	収束局面・可能な限り 学校教育活動の継続
18	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和4年6月7日	レベル1	感染症対策と並行した 熱中症対策
19	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和4年8月19日	レベル1	8/29～地域の感染レベ ルの考え方の変更
20	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和4年9月8日	レベル1	療養期間等の見直し
21	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和5年4月1日	定めない	学校教育全般で活動制限 なし、マスクの着用をし ないことが基本

HP⇒<https://www.city.ebina.kanagawa.jp/guide/kyoiku/oshirase/1012367.html>

9 学校保健

(1) 学校事故（独立行政法人 日本スポーツ振興センター扱い）

ア 負傷・疾病の種類別災害発生状況（令和4年度）

負傷・疾病別		小学校 (件)	中学校 (件)	合計 (件)
負傷	骨折	59	86	145
	捻挫	20	46	66
	脱臼	6	3	9
	挫傷・打撲	94	77	171
	靭帯損傷・断裂	2	19	21
	挫創	17	8	25
	切創	2	0	2
	刺創	4	0	4
	割創	0	0	0
	裂創	4	0	4
	擦過傷	2	0	2
	熱傷・火傷	1	0	1
	歯牙破折	5	1	6
	その他	0	0	0
小計	216	240	456	
疾病	食中毒	0	0	0
	食中毒以外の中毒	0	0	0
	熱中症	2	1	3
	溺水	0	0	0
	異物の嚥下・迷入	1	0	1
	接触性の皮膚炎	0	0	0
	外部衝撃、相当の運動量、心身に対する負担の累積に起因する疾病	2	5	7
	負傷に起因する疾病	5	4	9
	小計	10	10	20
合計	226	250	476	

イ 負傷・疾病の場所別災害発生状況（令和4年度）

場所別		小学校 (件)	中学校 (件)	合計 (件)
学校 内・ 校舎 内	教室	34	4	38
	実習実験室	6	0	6
	体育館・屋内運動場	37	113	150
	講堂	0	0	0
	遊戯室	0	1	1
	廊下	4	2	6
	昇降口・玄関	4	1	5
	階段	9	4	13
	ベランダ	0	0	0
	屋上	0	0	0
	便所	2	0	2
	その他	0	0	0
	小計	96	125	221
学校 内・ 校舎 外	運動場・校庭	95	92	187
	プール	0	0	0
	排水溝	0	0	0
	手足洗場	0	0	0
	水飲み場	0	0	0
	農場	0	0	0
	その他	1	0	1
小計	96	92	188	
学校 内・ 校舎 外	道路	28	8	36
	公園・遊園地	1	0	1
	運動場・競技場	2	11	13
	体育館	0	13	13
	山林野	0	0	0
	海・湖・沼・池	0	0	0
	河川	1	0	1
	その他	2	1	3
小計	34	33	67	
合計	226	250	476	

(2) インフルエンザワクチン接種助成

家庭の経済状況にかかわらず、「入学試験」や「就職試験」などの人生の節目を迎える中学3年生が、インフルエンザに罹患することなく、試験等において十分に力を発揮できるよう、インフルエンザ予防接種費の助成を行っています。

各中学校におけるインフルエンザワクチン対象者数及び接種数の実績
(令和4年度)

(単位：人、%)

学校名	対象者数	接種数	割合
海老名中学校	156	98	62.8
有馬中学校	207	119	57.5
海西中学校	170	97	57.1
柏ヶ谷中学校	207	122	58.9
大谷中学校	190	106	55.8
今泉中学校	207	112	54.1
私学等	97	40	41.2
合計	1,234	694	56.2

10 学校給食

(1) 学校給食の状況

- ・ ミルク給食がスタート
- ・ 昭和 48 年 5 月 共同調理場方式による学校給食センターを開設し、直営による小中学校完全給食を開始
- ・ 昭和 52 年 4 月 共同調理場方式による南部学校給食センターを開設
- ・ 昭和 56 年 9 月 中学校完全給食をミルク給食に切り替える
- ・ 平成 5 年 9 月 給食の食器をランチ皿から個別食器に改善
- ・ 平成 20 年 1 月 東柏ヶ谷小学校において、単独校方式による給食施設を開設し、直営による自校給食を開始
- ・ 平成 20 年 4 月 共同調理場の調理業務委託を開始
- ・ 平成 23 年度 市内全中学校で選択式給食（配食弁当）を開始
- ・ 平成 24 年度 学校給食費を「私会計」から「公会計」へ移行
- ・ 平成 24 年 9 月 学校給食センターと南部給食センターを統合し、海老名市食の創造館(多機能共同調理場)を開館、小学校給食を開始
- ・ 平成 27 年度 食の創造館を指定管理による管理運営へ移行
- ・ 平成 30 年 4 月 東柏ヶ谷小学校における給食運営を調理業務委託として開始
- ・ 令和元年度 学校給食検討委員会を設立し今後の給食のあり方を検討
- ・ 令和 2 年度 食の創造館の管理運営を指定管理から市直営へ移行
- ・ 令和 3 年度 学校給食検討委員会の結果を受け、中学校給食調理施設の建設準備を開始
- ・ 令和 4 年 6 月 食の創造館増築棟建設開始
- ・ 令和 5 年 4 月 中学校完全給食に向けて中学校給食実施検討会を設立

(2) 学校給食の目標

- ・ 地産地消を推奨し、郷土や食材への感謝の気持ちを育むとともに、食生活についての正しい理解と望ましい習慣を養う。
- ・ 児童の健康に配慮し、食品の安全確保と衛生管理の徹底に努める。
- ・ 学校訪問による児童への指導や、保護者の要望に応じた試食会を通じ、食育の推進や学校給食への理解が深まるよう積極的に努める。
- ・ 児童の嗜好を把握しつつ、栄養改善や健康増進に向けて、献立を工夫する。

(3) 給食内容の充実

献立作成においては、児童の嗜好の変化や栄養のバランスに十分配慮し、一層の充実を図ります。また、学校給食摂取基準に従い、通常、不足しがちな鉄分や食物繊維の摂取量を増やすなど、工夫と改善に努めています。

(4) 施設の概要

ア 海老名市食の創造館



所在地	海老名市中新田四丁目 12 番 2 号
敷地面積	4973.55 m ²
構造・規模	鉄骨造 2 階建
建築面積	2,520.58 m ²
延床面積	3,522.81 m ²
調理能力	8,000 食/日
供用開始	平成 24 年 9 月
給食実施数	7,215 食 (令和 5 年 5 月 1 日現在)
運営形態	調理業務委託
特徴	給食機能に加え、食育を推進し、広く市民にサービスを提供する市民開放型の多機能施設を目指し、調理実習室や会議室を一般開放するほか、災害時の炊き出し、幼稚園給食等も視野に入れた施設活用を図っています。

イ 東柏ヶ谷小学校給食室



所在地	海老名市東柏ヶ谷六丁目 9 番 7 号 (※海老名市立東柏ヶ谷小学校内)
敷地面積	325.50 m ²
調理能力	700 食/日
供用開始	平成 20 年 1 月
給食実施数	420 食 (令和 5 年 5 月 1 日現在)
運営形態	調理業務委託

11 就学援助

スクールライフサポート（就学援助）制度では、経済的な理由により就学困難な海老名市立小中学校の児童生徒の世帯に対し、学用品費や給食費など、学校生活に必要な費用の一部を援助しています。

（１）スクールライフサポート（就学援助）の認定者数及び認定率

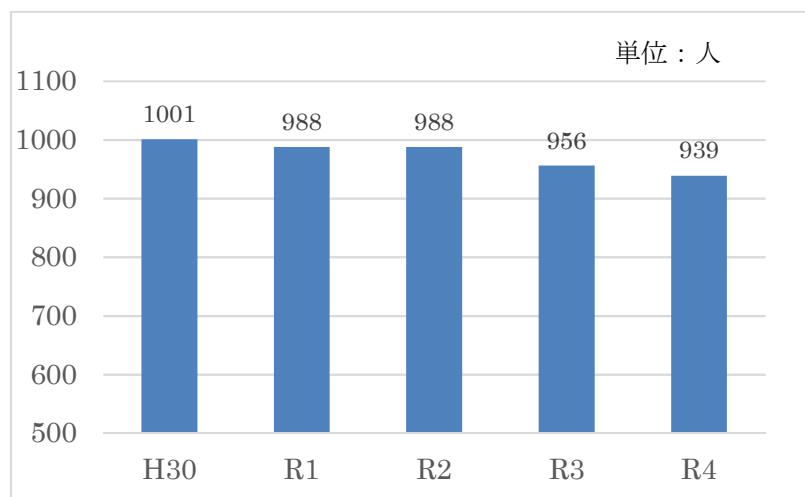
ア 小学校

年度	児童数 (A)	申請者数 (B)	認定者数 (C)	認定率 (C/A)	認定率 (C/B)	否認定者数
H30	7,184人	678人	629人	8.76%	92.77%	50人
R1	7,130人	655人	600人	8.42%	91.60%	55人
R2	7,170人	662人	613人	8.55%	92.60%	49人
R3	7,097人	647人	602人	8.48%	93.04%	45人
R4	7,106人	621人	600人	8.44%	96.62%	33人

イ 中学校

年度	生徒数 (A)	申請者数 (B)	認定者数 (C)	認定率 (C/A)	認定率 (C/B)	否認定者数
H30	3,511人	392人	372人	10.60%	94.90%	20人
R1	3,491人	408人	388人	11.11%	95.10%	20人
R2	3,450人	395人	375人	10.87%	94.94%	20人
R3	3,427人	384人	354人	10.33%	92.19%	30人
R4	3,381人	345人	339人	10.03%	98.26%	12人

スクールライフサポート（就学援助）の認定者数推移



12 奨学金

(1) 目的

経済的理由により、学校教育法に規定する高等学校・中等教育学校の後期課程・専修学校・高等専門学校（第3学年まで）への修学等が困難な方に奨学金を給付し、未来の夢や目標の実現を支援するものです。（生活保護世帯は対象外となります。）

(2) 奨学金の額

年額80,000円

(3) 奨学金支給実績

令和4年度

(人数)

学年	申請	申請内訳		支給	不支給	辞退
1	22	新規	14	14		
		継続				
2	31	新規	5	5		
		継続	18	18		
3	13	新規	5	5		
		継続	27	27		
4 (定時制)	1	新規	1	1		
		継続	0	0		
計		70		70		

令和3年度

(人数)

学年	申請	申請内訳		支給	不支給	辞退
1	22	新規	22	22		
		継続				
2	31	新規	4	4		
		継続	27	27		
3	13	新規	5	5		
		継続	8	8		
4 (定時制)	1	新規	0	0		
		継続	1	1		
計		67		67		

13 保護者負担軽減

子どもたちの学校生活の中では、教材費や通学用服(制服)、修学旅行費など、さまざまな経費を保護者が負担していました。

このため、平成 29 年 7 月から平成 30 年 8 月まで、海老名市立小中学校における保護者負担経費の在り方について、「公平性を確保すること」、「保護者への説明責任を確実に果たすこと」を基本的な考え方として、海老名市保護者負担経費検討委員会で協議・検討を進めてきました。

今後は、周知や説明を十分に行っていく、学校・家庭・行政で連携した取組を行うことによって、保護者負担経費の適正化に積極的な推進を図っていきます。

(1) ジャージ服(上下)について

平成 30 年から令和 4 年にかけて、ジャージ、体操着(ハーフパンツ)選定コンペを実施しました。これにより価格が抑制されたことで、保護者負担軽減につながるとともに、質を高めることができました。

(単位：円)

学校名	現行ジャージ				コンペ 開催日	落札者	新ジャージ				差額
	上	下	ハーフ パンツ	合計金額			参加申込 業者数	契約期間	上	下	
海老名中学校	4,968	4,428	2,268	11,664	H30.8.21 13者	(株) トンボ H30.9.1~R3.8.31	4,150	3,150	1,700	9,000	-2,664
海 西中学校	4,968	4,644	3,024	12,636	R1.10.11 6者	阿部被服(株) R1.11.18~R4.8.31	3,850	3,190	2,090	9,130	-3,506
有 馬中学校	5,184	4,536	3,024	12,744	R2.2.19 8者	(株) トンボ R2.5.8~R5.8.31	3,850	3,600	2,450	9,900	-2,844
柏ヶ谷中学校	5,170	4,400	3,190	12,760	R4.8.6 4者	(株) トンボ R4.12.1~R7.8.31	4,400	3,750	2,550	10,700	-2,060
大 谷中学校	4,536	4,428	2,754	11,718	R4.8.20 5者	児島(株) R4.12.1~R7.8.31	3,850	3,190	2,390	9,430	-2,288

コンペにより選定したジャージ(海老名中学校)



(2) 修学旅行保護者負担軽減補助金

修学旅行を通じた児童生徒の学びを保障し、児童生徒の保護者の経済的な負担の軽減を図るため、児童生徒の修学旅行に要する経費に対し、補助金を交付しています。

補助金の対象者は、海老名市在住の修学旅行に参加する小学校6年生の保護者及び中学校3年生の保護者で、補助金の上限額は、小学校児童一人あたり10,000円、中学校生徒一人あたり15,000円です。

<補助金額(円)>

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
小学校	10,831,310	10,576,874	11,630,000
中学校	14,820,000	14,222,849	15,368,249

(3) 修学旅行等キャンセル料補助金

修学旅行等を災害等の理由により中止、延期及び不参加とした場合に発生するキャンセル料(旅行業者へ支払う違約金、交通費・宿泊費等の追加料金など)に対し、児童生徒の保護者の経済的な負担の軽減を図るため、補助金を交付しています。

<補助金額(円)>

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
小学校	7,904	3,432	0
中学校	76,181	61,930	110,093

(4) 修学旅行における新型コロナウイルス感染防止対策補助金

感染防止対策に要する割増経費相当額(交通費、宿泊費等の追加料金など)に対し、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、修学旅行を安全・安心に実施するため、補助金を交付しています。

補助金の上限額は、小学校児童一人あたり2,500円、中学校生徒一人あたり7,500円です。

<補助金額(円)>

	令和3年度	令和4年度
小学校	2,862,300	2,925,000
中学校	5,550,000	8,211,000

(5) 野外教育活動推進事業負担金

野外教育活動に参加する児童生徒の保護者の負担軽減を図るため、野外教育活動に要する経費に対し、負担金を交付しています。

なお、令和3年度以降は小学校のみを対象としています。

<負担金額(円)>

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
小学校	15,344,065	14,662,988	15,398,578
中学校	4,739,846		

第4章 社会教育・その他

1 社会教育の推進

(1) 社会教育委員会議

社会教育法第17条の規定により、市の社会教育に対し助言をするため、教育委員会から委嘱された社会教育委員により実施される会議です。

海老名市の社会教育委員会議は、図書館協議会を兼ねていることから、市立図書館の運営等についても協議を行っています。

なお、委員の任期は1年、定数は10人以内となっており、次の者から教育委員会が委嘱しています。

ア 学校教育関係者	1人
イ 社会教育関係者	5人
ウ 家庭教育の向上に資する活動を行う者	1人
エ 学識経験者	3人

【社会教育委員会議・令和4年度実績】

	日時	場所	出席委員数	議題・報告等
第1回	令和4年 6月21日(火) 10:00~12:00	えびなこどもセンター2階 201会議室	10人	社会教育事業計画について
				電子図書館について
				海老名市立図書館について
第2回	令和4年 8月23日(火) 10:00~11:00	えびなこどもセンター2階 201会議室	9人	えびなっ子ふれあいフェスタ・いきいきシンポジウムについて
				海老名市立図書館について
第3回	令和4年 9月20日(火) 10:00~11:30	えびなこどもセンター2階 201会議室	10人	えびなっ子ふれあいフェスタ・いきいきシンポジウムについて
				海老名市立図書館について
				海老名市教育大綱について
第4回	令和4年 11月24日(木) 10:00~11:10	えびなこどもセンター2階 201会議室	8人	えびなっ子ふれあいフェスタ・いきいきシンポジウムについて
				令和5年海老名市二十歳の祝典の挙行について
第5回	令和5年 1月24日(火) 9:30~11:35	えびなこどもセンター2階 201会議室	10人	えびなっ子ふれあいフェスタ・いきいきシンポジウムについて
				海老名市立図書館に関するアンケート結果について
				海老名市立図書館の運営について
				令和5年度社会教育関係団体への補助金について

(2) 社会教育計画

ア 計画の概要

海老名市では、平成24年度から社会教育を子どもにかかわることを中心とした形をとることで、学校教育と社会教育両面から子どもたちの健全育成を支援して来たところですが、平成27年度には「社会教育計画」を5か年計画として策定し、その計画に基づき、子どもと大人がともに育つことを目標として計画を推進し、一定の成果を残すことができました。

令和2年度には、海老名市の子どもたちを取り囲む社会教育関係団体の連携を図り、目指すべき子どもの姿を目標に、すべての子どもたちの成長を支える新たな「社会教育計画」を策定しました。

その計画を具現化するため、目指すべき子どもの姿を設定し、計画的に実施していきます。

イ 計画期間

計画期間は令和2年度から令和7年度の6年間としています。

※ただし、社会情勢や計画の進捗を踏まえ、社会教育委員会議に諮りながら必要に応じて見直しを行います。

(3) えびなっ子ふれあいフェスタ・いきいきシンポジウム

社会教育計画の目指すべき子どもの姿を共有する場として、又、社会教育関係団体の連携を図る場として「えびなっ子ふれあいフェスタ・いきいきシンポジウム」を令和4年度に実施しました。

ア ふれあいフェスタ

「えびなっ子ふれあいフェスタ」は、子どもも大人も参加体験できる場を提供し、体験をとおして社会教育への関心を高め、自分の生き方につなげていくことをねらいとしています。

令和4年度は、「日本舞踊」、「はやし連」、「新体操」、「スカウト連」、「太極拳協会」、「少年野球連盟」の6つの団体に体験活動を提供していただき、事前申込制をとった体験には、定員35名に対して多くの応募があり、多くの子どもたちが参加しました。



イ いきいきシンポジウム

市内で活動する社会教育団体が社会教育計画の目指すべき子どもの姿を共有する場として、「えびなっ子いきいきシンポジウム」を開催しました。

社会教育団体の活動紹介や子どもたちと教育長とのトークセッション、また、参加した社会教育団体同士での意見交換など、大人たちにとっても、改めて海老名の子どもたちのために何ができるかを考える大変貴重な機会となりました。

(4) 社会教育関係団体支援

子どもたちの社会教育活動を推進する青少年育成団体に対し活動支援を行っています。

- ・スカウト連絡協議会
- ・単位子ども会
- ・青少年健全育成連絡協議会
- ・青少年指導員連絡協議会
- ・PTA連絡協議会

(5) 市民講座（まなBINA）

社会教育の充実を図ることを目的とし、幅広い年齢層を対象に学びの場・交流の場を提供するため1テーマごとに連続した講座開催形式を取り入れた講座を実施しています。

各講座のテーマ構成については、市民にとって魅力的な講座となるよう、「歴史、文学の視点」、「高等教育の視点」、「小・中学生育成の視点」の3つの視点でテーマ構成をしています。

令和4年度の実施にあたっては、引き続き、参加者へのマスク着用や手指消毒などの感染対策を行いながら実施しました。

【市民講座・令和4年度実績】

○連続講座

テーマ及び講師	開催日	講座タイトル	定員	申込者数 (応募率)	満足度
「源氏物語 ～セリフで読む夕顔巻～」 神奈川大学日本常民文化研究所特別研究員 繁田 信一 氏	令和4年6月20日(月)	夕顔を見出す光源氏	60名	59名 (98%)	84%
	令和4年7月4日(月)	夕顔に夢中になる光源氏			
	令和4年7月11日(月)	夕顔を喪う光源氏			
「鎌倉殿と肅清劇の時代 平安時代末期 ～鎌倉時代初期」 歴史ナビゲーター れきしクン (長谷川 ヨシテル氏)	令和4年8月30日(火)	平家を倒せ！源平合戦	60名	60名 (100%)	87%
	令和4年9月13日(火)	肅清劇の始まり！鎌倉幕府・誕生			
	令和4年9月27日(火)	頼朝亡き後、血みどろの執権政治			
「司法に参加し、司法を活用しよう 一元検事が語る、裁判員裁判と被害者支援～」 アスカ横浜法律事務所 弁護士 堀本 久美子 氏	令和4年10月11日(火)	司法に参加するとは	40名	31名 (76%)	83%
	令和4年10月20日(木)	裁判員（模擬）を体験してみよう			
	令和4年10月27日(木)	司法の活用			
「人と共生するロボットの最前線」 神奈川工科大学創造工学部准教授 三枝 亮 氏	令和4年11月2日(水)	歩行とロボット～歩行計測～	50名	30名 (60%)	75%
	令和4年11月9日(水)	会話とロボット～生理計測～			
	令和4年11月16日(水)	食事とロボット～食事支援～			
「続・隣町と海老名～子どもの世界～」 海老名市文化財保護審議会委員 片山 兵衛 氏	令和5年2月6日(月)	子どものいのち	60名	32名 (53%)	86%
	令和5年2月20日(月)	子どものしつけ			
	子どもと村 <small>※中止となった2回目の講座を併せて実施した。</small>				

○小・中学生のための科学講座

テーマ及び講師	開催日	講座タイトル	定員	申込者数 (応募率)	満足度
「砂・石・化石がおしえてくれること」 海老名市立今泉中学校 教諭 野田 啓司 氏	令和4年12月3日(土)	砂ってなに？	20名	16名 (80%)	94%
	令和4年12月10日(土)	どんな石があるのかな？	20名	20名 (100%)	
	令和4年12月17日(土)	化石がおしえてくれること	20名	23名 (115%)	

(6) 家庭教育学級

現在、子どもを取り巻く環境も日々大きく変化し、そのような中で子育てせざるを得ない状況に、不安や戸惑いを感じている保護者も多いと考えられます。

そのため、子育てに関する気づきやヒント、また、家庭・学校に関することなどを計画的・継続的に学習し、子どもの成長に役立てていただけるよう、「家庭教育学級」を実施しています。

令和4年度は、小学校12校、中学校6校、幼稚園2園で家庭教育学級を実施しました。

対面での開催が多くあり、参加者同士の交流を図ることができました。

また、資料配布や動画視聴を組み合わせたりするなど、工夫して学級を開催することで、より多くの保護者に情報を発信し、学習の場を提供することができ、家庭教育学級の目的については、一定以上の効果を得られたと感じています。

【家庭教育学級・令和4年度実績】

○発信型（資料配布、動画視聴など）で実施した講座

学校名等	月 日	テーマ	講 師
社家小学校	10月31日(月)	自律神経を整えて 健康な心体（からだ）づくり	【資料配布】 ルピナス鍼灸治療院 日置江 裕子
杉久保小学校	9月30日(金)	小学生のうちに身につけたい お片付け習慣の作り方	【資料配布】 ここはぐおかたづけ 野中 幸子
今泉小学校	9月26日(月) 10月21日(金)	共に生きる地域・家庭・学校	【動画視聴】 今泉小学校 北邨教諭、石川総括教諭
柏ヶ谷中学校	9月5日(月)	食育ってなんだろう 学校給食・家庭でできること	【資料配布】 食の創造館 栄養教諭 山内 優里
海老名みなみ幼稚園	6月10日(金)	親子で簡単クッキング 新じゃがいも	【資料配布】 本部役員
	9月14日(水)	「もしものときに」 応急手当と心肺蘇生	【資料配布】 海老名市消防本部

○対面で実施した講座

学校名等	月 日	テーマ	講 師	参加者数
海老名小学校	6月16日(木)	教えて松本純先生！ 子どもとの関わり方が分かる 親子でイライラしない会話術	GOODリレーションズ 研究所代表 親業訓練インストラクター 松本 純	42人
柏ヶ谷小学校	11月28日(月)	SNSの上手（安全・安心）な 使い方 ※5年生・6年生と一緒に受講 （5年生はリモート）	海老名警察署 生活安全課 少年係 高橋	18人
有鹿小学校	7月13日(水)	おなか元気教室	厚木ヤクルト販売（株） 岩崎 友紀	24人
	10月27日(木)	感性を育む ～アイリッシュハーブの演奏 とお話し～ ※3年生と一緒に受講	アイリッシュハーブ奏者 永山 友美子	19人
有馬小学校	7月4日(月)	感性を育む ～アイリッシュハーブの演奏 とお話し～ ※5・6年生と一緒に受講	アイリッシュハーブ奏者 永山 友美子	20人
	11月18日(金)	チェアピラティス& セルフリンパケア	ピラティス インストラクター 山田 由利	14人
上星小学校	11月22日(火)	「利き脳」からわかる 自分に合ったお片付け	お片付け×子育て ×発達凹凸環境サポート ライフオーガナイザー® 田中 知津子	31人

学校名等	月 日	テーマ	講 師	参加者数
中新田小学校	10月27日(木)	誕生、命を育む、生きる ※6年生と一緒に受講	助産師 山浦 直子	13人
門沢橋小学校	7月4日(月)	思春期の子もとどう向き合うか	臨床心理士 公認心理士 ヴィヒャルト 千佳こ	18人
	12月9日(金)	多肉植物に触れてみよう	多肉スタイリング協会® 多肉スタイリスト® 中村 美穂	19人
東柏ヶ谷小学校	12月7日(水)	家庭でのコミュニケーション	県央教育事務所 社会教育主事 石井 隆二	22人
今泉小学校	12月20日(火)	スマホ・ケータイ安全教室	KDDI スマホ・ケータイ 安全教室担当者	20人
杉本小学校	7月5日(火)	初心者でも安心！ ダンスフィットネス ZUMBA 承認No.19010	ZUMBA インストラクター かが みわこ	22人
	10月25日(火)	なにげない日々を 美しく残したい！ スマフォトレッスン	ミヒカメラ 大久保 美姫華	15人
海老名中学校	10月3日(月)	エニアグラムで自分のタイプを知ろう	NPO法人 日本エニアグラム学会 認定アドバイザー 相浦 やよい	23人
	11月18日(金)	コロナ太りをなかった事に 簡単チェアヨガ	ヨガインストラクター (あんどYOGA) 主宰 野口 加奈子	15人
有馬中学校	9月2日(金)	食の創造館見学	現地見学9人 (その他、後日資料配付)	
海西中学校	10月20日(木)	みんなでフラダンス	フラスタジオ インストラクター 桜林 裕子	7人
大谷中学校	9月22日(木)	体質チェックと簡単薬膳	国際中医師・中医薬膳師 萌木 のり子	15人
	11月24日(木)	いくつになっても 健康で動ける体	ダンスインストラクター 近藤 令子	13人
今泉中学校	10月7日(金)	かんたんチェアヨガ 身体と心の底から幸せに	ヨガインストラクター (あんどYOGA) 主宰 野口 加奈子	10人
旭たちばな幼稚園	6月13日(月)	ZOOMベビーマザーコース 「0～1才の発達」	旭たちばな幼稚園 副園長 中西 摩耶子	28人
	6月15日(水)	ZOOMベビーマザーコース 「1～2才の発達」		25人
	6月27日(月)	ZOOMベビーマザーコース 「2～3才の発達」		19人

2 子ども・学校支援事業

海老名市教育委員会の教育理念「ひびきあう教育」に基づき、学校・家庭・地域社会が連携を図り、地域ぐるみで子どもたちの「しあわせ」を求め育むために学校応援体制を整備し、地域力を生かした社会教育と学校支援の実現を目標とし、子ども・学校支援事業を実施しています。

(1) 学校・地域ネットワークづくり運営委員会、学校応援団運営委員会

事業を実施するに当たり、地域力を活かした社会教育と学校支援の充実を図るため、市内各小学校に「学校応援団運営委員会」を設置し、学校と地域の実態に応じた機能的で多様な支援活動を推進しています。

また、各校の運営委員会の活動状況を定期的に把握し、本事業のあり方や学校と地域のネットワークづくりに関する事など、今後の方向性について助言や提言を行うため、「学校・地域ネットワークづくり運営委員会」を設置しています。

(2) えびなっ子スクール・あそびっ子クラブ

市内各小学校に設置した学校応援団運営委員会の委託事業として、「えびなっ子スクール」、「あそびっ子クラブ」を実施しています。

「えびなっ子スクール」は、夏季休業中や放課後の時間を利用し、各学校で子どもや地域の実態に応じて創意工夫をしながら、学校教育ではなかなか体験できない多様なプログラムを実施し、子どもたちに体験学習の場を提供しています。

また、「あそびっ子クラブ」は、子どもたちの放課後の居場所の一つとして、通い慣れた学校の体育館やグラウンドなどを活用して、自由に遊んだり、学年を越えた仲間と交流したりすることで、子どもたちの豊かな創造性や協調性などの育成を目的とする事業です。

【えびなっ子スクール実績・令和4年度】

	延べ開催日数	参加者数
令和4年度	78日	3,671人

【あそびっ子クラブ実績・令和4年度】

	小学校数	延べ開催日数	参加者数
令和4年度	13校	1,894日	41,637人

(3) まなびっ子クラブ

子どもたちに放課後の学習環境を提供し、学力定着を図るため、各小学校で自学自習の場である「まなびっ子クラブ」を実施しています。

【まなびっ子クラブ実績・令和4年度】

	小学校数	延べ開催日数	参加者数
令和4年度	13校	307日	2,883人

(4) 巡回指導

市内の子どもたちを対象に社会教育支援指導員による工作指導や本などの読み聞かせを実施しています。

【巡回指導実績・令和4年度】

	実施場所	実施回数	参加者数(人)
つくってあそぼう (工作指導)	コミュニティセンター等	69回	496人
	あそびっ子クラブ	50回	1,845人
おはなし会 (読み聞かせ)	市立保育園	171回	3,543人
	あそびっ子クラブ	43回	454人

3 青少年健全育成

(1) 青少年指導員

地域社会における青少年の社会生活を健全に育成指導するため、各自治会から推薦いただき、市の有償ボランティアとして活動しています。

任期は2年で、学校・地域単位で行う活動と市域全体に渡る活動があり、市域全体に渡る活動は、オアシス推進部会、文化レクリエーション部会、広報部会、地域活動推進部会の4つの専門部会を設け、活動しています。

(2) ユースサポート事業

概ね20歳以上40歳未満の若者を対象にひきこもりやニートの方の相談支援をしています。

また、ひきこもりの家族の方を対象とした講演会及び相談会を年2回実施しています。

【講演会・令和4年度実績】

	月 日	テーマ	講 師	参加者数
第1回	令和4年 7月30日(土)	『ひきこもりに向き合う ～体験者とともに～』	七里が丘子ども若者支援研究所 主宰 滝田 衛 氏 ひきこもり発信プロジェクト 代表 新舩 秀浩 氏 (リモート講演)	講演会19名
				相談会3名
第2回	令和5年 2月18日(土)	『ひきこもり体験者に学ぶ ～体験談を聞きながら～』	NPO法人子どもと生活文化協会 (CLCA) 顧問 和田 重宏氏	講演会20名
				相談会2名

【相談支援実績】

	支援対象	相談回数
令和4年度	20ケース	185回

(3) 二十歳の祝典

年度内に満20歳となる方々の新しい門出を祝福し、社会人としての自覚を高めるために、「成人の日」に式典を開催しています。

また、対象者の中から、有志による実行委員会を設立し、式典の企画から当日の運営までを担っています。

令和4年度の二十歳の祝典は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じた上、2部制で実施しました。

【令和5年 二十歳の祝典概要】

- 1 日 時 令和5年1月9日（月祝）
【第1部】10時30分～ 海老名・柏ヶ谷・今泉中学校の卒業生
【第2部】13時30分～ 有馬・海西・大谷中学校の卒業生
- 2 会 場 海老名市文化会館 大ホール
- 3 対象者数 1,343人
- 4 参加者数 1,032人（参加率 約77%）
- 5 実行委員 8人



【「二十歳の祝典」実施の様子】

4 図書館

(1) 図書館概要

平成26年度から指定管理者制度を導入し、指定管理者による運営を行っています。

第二期指定管理者 「えびな学びコンソーシアム」

第二期指定期間 平成31年4月1日から令和6年3月31日まで

ア 中央図書館

開館時間 9時から21時まで

休館日 なし

(ア) 建物概要

構造 鉄筋コンクリート4階建/地下1階建

延床面積 3659.79㎡

開館 昭和60年4月1日/リニューアル平成27年10月1日

(イ) 蔵書数・貸出者数・貸出冊数等（令和4年度）

項目	実績等
蔵書数	343,340冊
貸出者数	259,089人
貸出冊数	650,331冊
レファレンス件数	378件

(ウ) イベント等

	回数	参加者数（延人数）
おはなし会	211回	3,503人
講座・イベント	161回	2,980人

イ 有馬図書館

開館時間 9時から21時まで

休館日 毎月最終月曜日・年末年始

(ア) 建物概要

構造 鉄筋コンクリート造り

延床面積 2321.04㎡（門沢橋コミュニティセンターと同一敷地）

開館 平成7年5月2日/リニューアル令和3年5月1日

(イ) 蔵書数・貸出者数・貸出冊数等（令和4年度）

項目	実績等
蔵書数	108,825冊
貸出者数	35,675人
貸出冊数	134,125冊
レファレンス件数	71件

(ウ) イベント等

	回数	参加者数（延人数）
おはなし会	111回	1,126人
講座・イベント	59回	1,449人

ウ 市民図書室

北部地区の図書利用者の利便性確保のため、東柏ヶ谷小学校内に市民図書室を開室しています。

(ア) 開館日 毎週土曜日、日曜日

(イ) 開館時間 9時から17時まで

(2) 図書取次ネットワーク

市内の図書利用者の利便性確保のため、市内2か所に図書取次所を設置し、予約図書の取次及び返却業務を行っています。

名称	所在地
海老名市障害者支援センターあきば内「カフェはみんぐ」	海老名市上今泉六丁目11番20号
海老名市立国分寺台文化センター	海老名市国分寺台2丁目10番23号

※令和4年8月22日に「えび〜にゃハウス」が閉店となったことから、図書取次所は2か所となりました。

(3) 学校図書館支援センター

市内小中学校19校へ週2回司書を派遣し、図書室環境の整備、資料選書支援、授業支援など児童生徒の読書推進を実施しています。

5 学童保育クラブ

市内の学童保育クラブは、すべて民設民営で開設、運営をされていますが、近年の共働き世帯の増加などにより、利用者は年々増加傾向となっています。

そのため、市内の保育園・幼稚園に在籍する児童を対象とした学童保育クラブの利用希望アンケートなどを実施し、その結果を踏まえながら学童保育クラブの適正配置に努めています。

また、スクールライフサポートの認定者で、学童保育クラブを利用している保護者に対し、「学童保育保護者支援補助金」として保育料の補助を実施しています。

(1) 利用者数（令和5年4月1日現在） (人)

年度 \ 学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
令和3年	431	406	338	273	174	127	1,749
令和4年	474	435	373	301	229	126	1,938
令和5年	483	466	396	323	250	182	2,100

(2) 事業所数（令和5年4月1日現在）

年度	令和3年	令和4年	令和5年
事業所数	56施設	61施設	61施設

(3) 学童保育保護者支援補助金

年度	令和3年	令和4年	令和5年 (予算額)
申請件数	174件	180件	185件
補助金額 (決算額)	20,644千円	22,468千円	24,388千円

6 ライフ・スタディサポート事業

ライフ・スタディサポート（生活困窮者学習支援）事業は、生活困窮者自立支援法に基づき、生活困窮世帯に属する中学生に対し、学習習慣の確立・学習意欲の向上を目指して、日常的な生活習慣の定着や居場所づくり、進学に関する支援を実施しています。

令和4年度は、すでに実施していた中部地区（海老名中学校区・大谷中学校区）に加え、令和4年7月から北部地区（柏ヶ谷中学校校区・今泉中学校区）でも事業を開始し、アンケート結果からも参加した生徒の学習意欲の向上や生活面での改善が図られています。

【利用実績】

	実施地区	利用者数	実施回数
令和3年度	中部地区	23人	216回
令和4年度	北部地区	7人	67回
	中部地区	26人	208回

第5章 文化財

1 文化財関係施設

(1) 海老名市立郷土資料館「海老名市温故館」

所在地	海老名市国分南一丁目6番36号
建築面積	250.16 m ² (延床面積 423.5 m ²)
敷地面積	515.62 m ²
建物構造	木造・鉄骨造2階建
開館時間	午前9時～午後5時15分
休館日	年末年始 ※臨時休館有
概要	大正7年に建築された海老名村役場庁舎を移築し、郷土資料館としたもので、考古資料と民具を中心に展示公開しています。
年間来館者数	8,500～10,300名



(2) 海老名市立歴史資料収蔵館

所在地	海老名市河原口二丁目27番3号
建築面積	168.56 m ² (延床面積 333.42 m ²)
敷地面積	1,475 m ²
建物構造	鉄筋コンクリート2階建
開館時間	午前9時～午後5時
休館日	月曜日、火曜日 年末年始
概要	海老名市をはじめ神奈川県内外の自治体史や各種参考資料の公開、市史編さんの過程等で寄贈された家文書の整理、一部公開、歴史的公文書の保存をしています。
年間来館者数	400～1,400名



(3) 文化財収蔵庫

所在地	海老名市国分北二丁目7番46号
建築面積	167.24 m ² (延床面積 317.99 m ²)
敷地面積	443.02 m ²
建物構造	軽量鉄骨造2階建て
収蔵資料	相模国分寺跡、相模国分尼寺跡、本郷遺跡、本郷中谷津遺跡、大谷向原遺跡、杉久保遺跡、杉久保内藤原横穴墓群、国分尼寺北方遺跡、秋葉山古墳群、市域における遺跡からの出土品・写真・図面などを収蔵しています。

(4) 史跡相模国分寺跡

所在地	海老名市国分南一丁目 1925 番 2 ほか
指定年月日	大正 10 年 3 月 3 日 (内務省告示第 38 号)
指定面積	34,841.73 m ²
整備状況	塔基壇復原整備、中門跡・僧坊跡・南面廊跡・北方建物跡・伽藍地区画溝の表示整備、植栽、遺構説明板の設置など。
概要	天平 13 (741) 年の「国分寺建立の詔」によって全国に建立された国分寺の 1 つです。法隆寺式伽藍配置という他の国分寺にはあまりみられない建物配置であることが評価されて国指定史跡となりました。
利用案内	常時開放



(5) 史跡相模国分尼寺跡

所在地	海老名市国分北二丁目 3220 番ほか
指定年月日	平成 9 年 4 月 3 日 (文部省告示第 59 号) 平成 14 年 3 月 19 日 (文部科学省告示第 43 号) 追加 平成 20 年 3 月 28 日 (文部科学省告示第 40 号) 追加
指定面積	7,157.81 m ²
整備状況	公有地部分を整地。
概要	天平 13 (741) 年の「国分寺建立の詔」によって全国に建立された国分尼寺の 1 つです。全国的にみて国分尼寺跡が確認されているところが少なく、また、金堂跡等の保存状態が良好であることなどが評価されて国指定史跡となりました。
利用案内	常時開放



(6) 史跡秋葉山古墳群

所在地	海老名市上今泉四丁目 809 番 1 ほか
指定年月日	平成 17 年 7 月 14 日 (文部科学省告示第 101 号)
指定面積	12,365.07 m ²
概要	平成 9 年度から平成 15 年度の発掘調査によって、弥生時代終末から古墳時代前期前半にかけて継続的に築造された古墳群であることが分かりました。保存状態が良好であり、古墳文化の受容と古墳形態・祭祀の変化が確認できることが評価され国指定史跡となりました。
利用案内	常時開放

(7) 今福薬医門公園 (旧今福家住宅)

所在地	海老名市中新田一丁目 1495 番 5
面積	1,400.38 m ²
開園日	平成 20 年 1 月
施設	文庫蔵 1 棟 (江戸末期) 薬医門形式表門 1 棟 (江戸末期) ほか
概要	平成 16 年 5 月に市に寄贈された江戸時代末期の表門 (薬医門) と文庫蔵、敷地などを活用して開園した公園です。園内には、近年あまり見かけることがなくなった屋敷林 (樹種は 50 種類以上) や貴重な野草・植物が群生しています。
利用案内	開園時間：午前 10 時～16 時 30 分 休園日：12 月 27 日～1 月 4 日



(8) 上浜田 6 号墳

所在地	海老名市国分南三丁目 1043 番 27
面積	29.06 m ²
概要	上浜田古墳群を構成する古墳の 1 つで、4 世紀頃に築造された 1 辺約 22m の方墳であったと推定されています。道路整備や宅地開発などにより周辺が削られてしまっているが、わずかに残った墳丘部分を保存しています。

(9) 海老名氏記念碑

所在地	海老名市河原口字屋島 856 番 1
敷地面積	20.035 m ²
概要	「海老名氏」は、平安時代末期から室町時代にかけて海老名を本拠地とした武士の一族で、河原口に居館を構えていたと伝えられ、河原口や上郷からは中世の板碑が出土することや鎌倉幕府に仕えた海老名季定 (季貞とも) の供養碑と伝わる石塔等 (海老名氏霊堂) もあります。このことから昭和 46 年 12 月 26 日に当時の海老名市文化財保護委員の撰文による『海老名氏記念碑』を建立して、永く後世に伝えることにしました。
利用案内	常時開放

(10) 海老名の大櫨

所在地	海老名市国分南一丁目 1150 番先
指定年月日	昭和 29 年 3 月 30 日
概要	推定樹齢 570 年以上。 大山道に面した、国分寺の参道入口にあり、この付近が入り江になっていた頃に漁師が船をつなぐために逆さに打ち込んだケヤキの杭が根付いたとの伝承があります。
利用案内	常時公開



(11) 有馬のはるにれ（通称：なんじゃもんじゃ）

所在地	海老名市本郷 3881 番地
指定年月日	昭和 29 年 7 月 27 日
概要	推定樹齢 300 年以上。 江戸時代の医師、半井驢庵の下屋敷に植えられていたと伝えられています。当時、ハルニレは大変珍しい木であったため、木の名前を知る者もなく、「なんじゃもんじゃの木」と呼ばれたと云われています。
利用案内	常時公開



(12) 浅井の水（井）

所在地	海老名市国分北一丁目 2951 番 16
敷地面積	61.36 m ²
概要	小谷戸にある湧水で、永池川の源流とされます。清水寺（龍峰寺）縁起にある湧き水とされ、湧き水の中央には石造物（宇賀神）があります。近隣の家では水道が敷設されるまで、生活用水として利用していました。平成 27 年に土地の寄贈を受け、永く後世に伝えることにしました。
利用案内	常時公開

2 文化財の保護

市内にある文化財は数多く、史跡、建築物、樹木、有形及び無形の文化財に分類されますが、わが国の歴史や文化の成り立ちを理解する上で欠くことのできない国民固有の財産であり、将来の発展の基礎をなすものです。

したがって、史跡や文化財を次世代に継承していくために適切に保存する必要があります。

(1) 文化財保護事業

ア 市指定重要文化財などへの助成支援等

市指定重要文化財補助金(有形文化財 20 件・無形民俗文化財 1 件)
はやし保存連絡協議会への補助金

イ 史跡等の維持管理

史跡相模国分寺跡・史跡相模国分尼寺跡・史跡秋葉山古墳群・今福薬医門・浅井の水等の草刈、樹木剪定／海老名の大櫓・有馬のはるにれ維持管理・秋葉山古墳群のナラ枯れ樹木伐採／相模国分寺跡の花壇土留修理など

ウ 文化財保護審議会の開催

R4. 10. 5 市登録有形文化財の登録、国登録有形文化財の意見具申について

エ 市登録有形文化財登録

江戸時代から明治時代初期にかけての「高札」5件8点を市登録有形文化財に登録

オ 国登録有形文化財登録にかかる手続き

「海老名市温故館（旧海老名村役場）」
R5. 3. 17 文化財保護審議会から文部科学大臣へ登録するよう答申



市登録有形文化財 高札（慶応2年 国分村）

(2) 埋蔵文化財調査事業

ア 開発工事等の前の試掘等調査（12件）

（国分尼寺北方遺跡、相模国分尼寺跡、No. 24・25 遺跡、相模国分寺跡・国分宿遺跡、大谷下浜田遺跡、大谷市場遺跡）

イ 個人住宅建築に伴う発掘調査（4件）

（相模国分尼寺跡、御屋敷遺跡、杉久保遺跡、相模国分寺跡・国分宿遺跡）

ウ 金属製品保存処理

史跡相模国分寺跡等出土鉄製品保存処理

オ 出土品整理

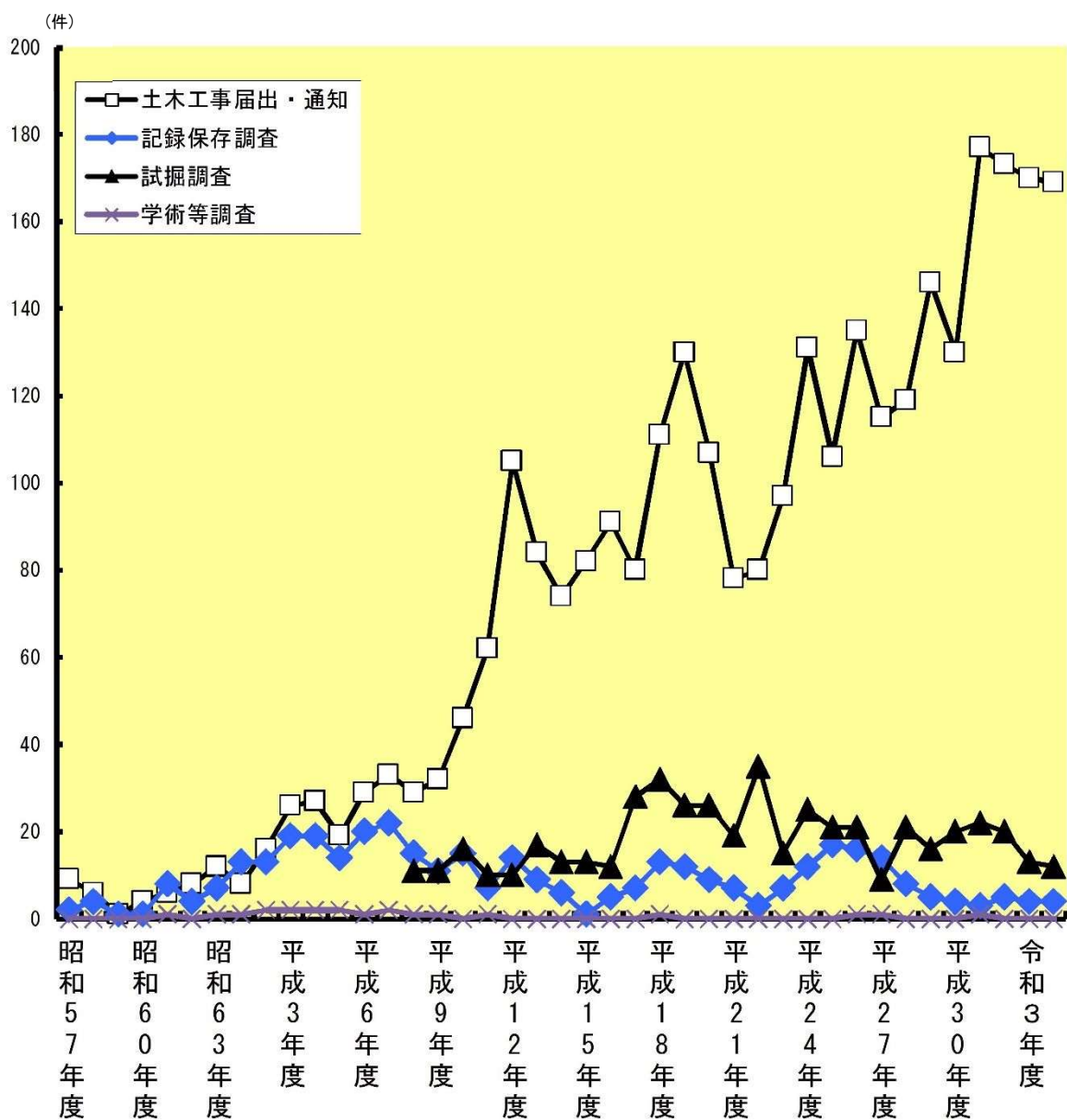
国分尼寺北方遺跡第 49、58 次調査出土品整理委託

エ 発掘調査報告書刊行業務

『国分尼寺北方遺跡第 49、58 次調査調査一』刊行



相模国分尼寺跡
溝状遺構発掘調査状況



(3) 相模国分寺跡整備事業

- ・次年度用地買収に向けた不動産鑑定評価を実施

(4) 相模国分尼寺跡整備事業

- ・次年度用地買収に向けた不動産鑑定評価を実施

3 文化財の活用

保存した文化財に広く市民が親しむために、市民関係者の意見提言を取り入れて歴史文化の学習や憩いの場づくりを進め、地域のまちづくり、商業や観光にも活用できるように整備することが重要な課題となっています。

(1) 温故館維持管理

令和4年度 開館日数 354日 来館者数 9190名

年度	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
入館者数	10,418	9,542	4,498	7,858	9,190

ア 収蔵品展「中世びとの祈りの形～海老名の中世石造物～」

開催期間 R4. 7. 21～10. 23

期間中来館者 2,238名

鎌倉時代から室町時代にかけての市域に見られる石造物（板碑、五輪塔、宝篋印塔）を紹介



中世びとの祈りの形展示の様子

イ 海老名市登録有形文化財高札特別公開

開催期間 R5. 1. 8～1. 22

期間中来館者 529名

初めて市登録文化財となった高札の展示公開を行った。

ウ 企画展「えびな近代鉄道物語」開催

開催期間 R5. 3. 28～

海老名駅北口開設にあわせ、鉄道関係資料を公開した。

エ 展示資料貸出

新宿区歴史博物館、大田区立郷土資料館、福祉政策課

オ VR体験

VR機器を常設し、奈良時代の相模国分寺のVR作品を視聴できるよう環境を整えた。

カ 維持管理ほか

建物清掃、警備、エレベーター修理

キ 寄贈資料

講道具、そろばん

(2) 歴史資料収蔵館維持管理

令和4年度 開館日数 257日 来館者 284名 資料閲覧者 141名

年度	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
入館者数	717	434	273	333	284

ア 収蔵品目録第2集を刊行

社家地区の清水登美子家資料等を目録化し、ホームページ等で公開した。清水家資料の一部は温故館企画展で公開

イ 郷土資料館条例施行規則及び歴史資料収蔵館設置施工規則の一部改正

博物館法改正等に伴う一部改正

ウ 寄贈資料

海老名町勢概要、御守り、上郷共有地資料、清水登美子家資料、浜田家資料、中新田周辺の大正～昭和の写真



清水登美子家寄贈資料 神中鉄道案内図

(3) 文化財活用事業

ア えびな文化財探求舎体験講座

- ①石器づくり 8月2日 参加者9名
- ②勾玉・瓦づくり 8月3、4日 参加者：44名

イ 相模国分寺跡VRコンテンツ体験会

R4.5.14 中央図書館 参加者83名

ウ 相模国分寺跡復元アプリ「相模国分寺360」の公開

iPad用アプリを湘南工科大学と協働で作成

エ 相模国分寺跡あそびのひろば

10、11、12、3月の4回開催
相模国分寺跡 参加者約300～500名

オ 温故館収蔵品展関連講演会

「中世石造物と葬送 - 神奈川県内の発掘調査事例を中心に -」

松葉 崇氏 ((公財) かながわ考古学財団)

R4.9.23 文化会館 参加者51名

カ 文化財案内板の整備

相模国分寺跡案内板板面交換、郷土かるた標柱建替

キ 文化財ガイド

R4.6.4 渡辺嶺山ゆかりの道を歩く 参加者29名

R4.10.8 東光山国分寺御開帳と国分周辺の史跡を歩く
参加者 28名

R5.2.18 古代の運河(逆川)をたどる 参加者32名

ク 郷土芸能の公開

R5.1.29 新春はやし叩き初め大会開催 来場者約600名
ささら踊りの出前事業、大谷歌舞伎の児童発表など

ケ その他

文化庁作成動画「いせきへ行こう 海老名市編」公開
文化財ガイド養成講座(海老名ガイド協会と共催)



相模国分寺360視聴の様子



相模国分寺跡あそびのひろばの様子



新春はやし叩き初め大会の様子

4 指定・登録文化財等一覧

指定重要文化財等一覧(令和5年3月31日現在)

区分：国は国指定、県は県指定、市は市指定

種別	No.	名称	区分	所在地	指定年月日
史跡	1	相模国分寺跡	国	国分南一丁目	大正10年3月3日
	2	相模国分寺尼寺跡	国	国分北二丁目	平成9年4月3日
	3	秋葉山古墳群	国	上今泉四・五丁目	平成17年7月14日
	4	上浜田中世建築遺構群	県	浜田町5番13号	昭和56年2月10日
	5	瓢箪塚古墳	市	国分南三丁目1055番地	平成10年8月28日
記念物 天然	6	海老名の大櫨	県	国分南一丁目23	昭和29年3月30日
	7	有馬のはるにれ	県	本郷3881番地	昭和29年7月27日
	8	椿地蔵のツバキ	市	杉久保南四丁目2621番2	平成10年8月28日
有形文化財 (建築物)	9	龍峰寺・観音堂(旧清水寺)	市	国分北二丁目13番40号	昭和50年3月19日
	10	龍峰寺・仁王門(旧清水寺)	市	国分北二丁目13番40号	昭和50年3月19日
	11	有鹿神社・本殿	市	上郷一丁目4番41号	平成4年10月1日
	12	海源寺・鐘楼門	市	中新田一丁目1番22号	平成6年10月20日
	13	八坂神社・本殿	市	勝瀬9番1号	平成10年8月28日
	14	渋谷神社・本殿	市	門沢橋四丁目11番14号	平成15年4月30日
	15	中野八幡宮・本殿	市	中野一丁目1番1号	平成16年5月18日
有形文化財	16	国分寺・銅鐘	国	国分南一丁目25番38号	大正12年8月4日
	17	龍峰寺・千手観音立像	国	国分北二丁目13番40号	大正14年4月24日
	18	正覚寺・十一面観世音菩薩像	市	門沢橋四丁目13番13号	昭和49年4月23日
	19	海源寺・大島豊後守正時座像	市	中新田一丁目1番22号	昭和49年4月23日
	20	豊受大神・絵馬3点	市	杉久保北二丁目22番1号	昭和49年4月23日
	21	龍峰寺・仁王像	市	国分北二丁目13番40号	昭和50年3月19日
	22	本覚寺・大日如来座像	市	本郷4618番地	昭和52年10月12日
	23	東林寺・大日如来座像	市	今里三丁目10番7号	昭和52年10月12日
	24	寿閑寺・脇侍二菩薩像(普賢、文殊)	市	本郷3453番地	昭和52年10月12日
	25	龍峰寺・絵馬(歌川国経)	市	国分北二丁目13番40号	昭和52年10月12日
	26	有鹿神社拝殿天井龍の絵図(藤原隆秀筆)	市	上郷一丁目4番41号	平成4年10月1日
	27	常念寺(現在廃寺)・石造宝篋印塔・石灯籠	市	本郷3068番1号	平成5年4月1日
	28	浄久寺・木造阿弥陀如来坐像	市	門沢橋四丁目11番1号	平成17年5月18日
	29	浄久寺・長谷川家石造	市	門沢橋四丁目11番1号	平成17年5月18日
無形文化財 民俗	30	ささら踊り	県		平成20年2月5日
	31	大谷歌舞伎(素人歌舞伎)	市		昭和50年3月19日
考古	32	海老名市上浜田遺跡出土球状耳飾	県		平成13年2月13日

登録文化財

種別	No.	名称	区分	所在地	登録年月日
有形	1	旧今福家住宅文庫蔵	国	中新田一丁目1495番5	平成30年11月2日
	2	旧今福家住宅表門及び塀	国	中新田一丁目1495番5	平成30年11月2日
	3	旧今福家住宅裏門	国	中新田一丁目1495番5	平成30年11月2日
	4	嶋崎家住宅主屋	国	上郷一丁目224番2他	令和3年10月14日
	5	嶋崎家住宅離れ	国	上郷一丁目224番2他	令和3年10月14日
	6	高札(門沢橋村)	市	門沢橋四丁目13番13号 (宗教法人正覚寺)	令和4年11月24日
	7	高札(国分村)	市	河原口二丁目27番3号 (市立歴史資料収蔵館)	令和4年11月24日
	8	高札(中新田村)	市	河原口二丁目27番4号 (市立歴史資料収蔵館)	令和4年11月24日
	9	高札(中新田村 4点)	市	河原口二丁目27番5号 (市立歴史資料収蔵館)	令和4年11月24日
	10	高札(中新田村)	市	河原口二丁目27番6号 (市立歴史資料収蔵館)	令和4年11月24日

郷土芸能文化奨励団体

種別	所在地	選定年月日
相州海老名東柏太鼓		平成12年12月12日



神奈川県 海老名市教育委員会 教育部 教育総務課 総務係
〒 243-0422 海老名市中新田 377 番地 えびなこどもセンター
Tel 046-235-4916 (直通)
Fax 046-231-0277
E-mail kyoiku-soumu@city.ebina.kanagawa.jp

